

明治三十四年三月二十二日(金曜日)

議事日程 第十七號 明治三十四年三月二十二日

第一 請願委員長報告

第三
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
(追第二號) 審査期限ヲ定ムルノ件

付院送

第六 畜牛結核病豫防法案(政府提出) 第一讀會／續(特別委員長報告)

第八 郵便貯金、利子割増ニ關スル法律案（衆議院提出） 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十五 右義案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

千代田縣設置ニ關スル法律案(伯爵清)

第十八
東京都千代田縣組合法案
伯置清樞
教君外四名
第一讀會ノ讀（特別委員）

○議長（公爵近衛篤磨君）是ヨリ報告致シマス

一昨二十日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知シタリ

明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

明治三十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第二號)

臺灣事業公債法中改正法律案

明治三十二年法律第一百號中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル政府提出實業教育費國庫補助法中改正法律案ハ
即日衆議院ヘ送付セリ

同日本院ニ於テ修正議決シタル明治三十四年度歳入歳出總豫算案並明治三十四年度各特別會計歳入歳出豫算案ハ即日衆議院へ回付シタリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治三十四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

同日議員兒玉淳一郎君五十嵐甚藏君ヨリ三十二名ノ賛成ヲ以テ順德天皇御

遺跡保存ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

同日左ノ衆議院提出案ヲ受領シタリ

葉煙草專賣法中改正法律案

狩獵法改正法律案

郵便貯金利子割増ニ關スル法律案

社寺上地林處分法案

各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

印紙稅法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵日野 資秀君 副委員長 男爵郷 純 造君

屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ノ登録稅免除ニ關スル法律案外一件
特別委員會

委員長 伯爵島津 忠亮君 副委員長 男爵船越 衛君

明治三十三年勅令第二百七十七號承諾ヲ求ムルノ件特別委員會

委員長 侯爵松平 康莊君 副委員長 子爵仙石 政固君

北海道會法案外一件特別委員會

委員長 公爵二條 基弘君 副委員長 伯爵萬里小路通房君

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 子爵本莊 壽巨君

昨二十一日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ
通牒ヲ受領セリ

馬匹去勢法案

實業教育費國庫補助法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追加)

明治三十四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第一號)

明治三十二年豫備金支出ノ件外二件承諾ヲ求ムルノ件

同日政府ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

別紙貴族院議員久保田讓君外三十二名提出學政ニ關スル質問ニ對スル文
部大臣答辯書及御回付候也

明治三十四年三月二十日 內閣總理大臣侯爵伊藤博文

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

貴族院議員久保田讓君外三十二名提出學政ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯
書差進候也

明治三十四年三月二十日

文部大臣 松田正久

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

政府ハ大學、高等學校ノ増設、國語調查會ノ設置及學制ノ調査ノ必要ヲ
認ム然レトモ財政ノ都合ニ因リ明治三十四年度ニ於テハ未タ之ニ著手ス
ルニ至ラス故ニ次年度ニ於テ緩急ヲ計リテ之ニ著手スル心算ナリ
右及答辯候也

同日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領シタル

明治三十四年度歲入歲出總豫算案並明治三十四年度各特別會計歲入歲
出豫算案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五
十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治三十四年三月二十日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

本院ハ明治三十四年度歲入歲出總豫算案並明治三十四年度各特別會計歲
入歲出豫算案協議會委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也

明治三十四年三月二十日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今報告ヲ致シマシタ通豫算ノコトニ附キマシテ
衆議院ヨリ協議會ヲ求メテ參リマシタ、當院ニ於テモ協議會委員ヲ選ブノ必
要ガアリマス、是ハ議長ニ於テ指名シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ兩院協議ノ都合モゴザイマセウカラ直チ
ニ指名致シマス

〔河田書記官朗讀〕

明治三十四年度歲入歲出總豫算案並明治三十四年度各特別會計歲入歲出豫
算案兩院協議會委員

侯爵黒田 長成君 伯爵德川 達孝君 子爵曾我 祐準君

子爵岡部 長職君 子爵堀田 正養君 男爵有地 品之允君

男爵紀 俊秀君 久保田 讓君 武井 守正君

早川 周造君

○子爵堀田正養君 日程ニ移ル前ニチヨット願ヒタイト思ヒマスガ、豫テ本
院カラ警察及監獄ノ職務執行ニ關スル質問書ト云フモノヲ差出シテアル、最
早會期モ切迫シテ居ル今日、政府ハ未ダ是ニ對スル答辯ヲシナイヤウニ考ヘ

マスカラ、速ニ答辯アルヤウニ希望致シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ日程ニ移リマス、請願委員長報告

〔子爵芳川顯正君演壇ニ登ル〕

○子爵芳川顯正君 是ヨリ請願委員會ノ經過ヲ御報道致シマス、本期議會開會以來請願委員會ヲ開キマシタルハ都合九回デアリマス、又議會開會以來三月二十日マデニ本院ニ受領致シマシタル請願ノ總數ハ七百八十九通デアリマス、其中ニ就イテ諸君ノ御手許ヘ文書表ヲ以テ御報告シマシタルモノガ四百十三通アル、而シテ請願文書表ハ第七回マデ調製ヲ致シ議長マデ報告ヲ致シテ置キマシタル、其文書表中デ本院ノ院議ニ付スベシト決シマシタル部分ハ特別報告ノ第一號第二號ヲ以テ議長ニ報告致シ置キマシタル、其内第一號ノ分ハ即チ本日ノ議事日程ニ掲載セラレテ居リマス、即チ諸君ノ御手許ヘ配付ニナツテ居ルノデアリマス、又會議ハ文書表第六號ノ一部分マデ開キマシタル七號ノ分ハ未ダ會議ヲ開ク場合ニ到著シテ居リマセヌノデアリマス、又文書表及特別報告書ノ整頓ヲ圖リマスガタメ同一議員ノ紹介ニ係リマス同一事件ノ請願書ハ多クハ之ヲ合冊ニ致シマシテ取扱ツタノデアリマス、ソレ故ニ文書表ノ號數ト本日報告シマシタル通數トハ一致ヲ致シマセヌノデアリマス、又其中院議ニ付スベシト議決シマシタルモノハ五十九通デ、其件數ハ二十九件ニ相成リマス、留置ト決シマシタルモノハ百五十六通、又請願書中ニ於キマシタル哀願ノ體裁ヲ備ヘマセヌノデ議院法第六十三條ニ依テ却下致シマシタルモノガ四通アリマス、未ダ委員會ノ審査ヲ終ヘマセズ、或ハ主査ノ手ニ在リ、或ハ政府委員等ヘ交渉中デ未了ノ問題ニ屬シタルモノガ百六十九通アリマス、而シテ未ダ文書表ニ掲載セザルモノハ三百七十六通殘テ居ルノデアリマス、斯ク其數ハ澤山ゴザイマスガ、其中ノ過半ハ彼ノ眞言宗ノ分派獨立非認ノ請願ニ關係致シマスモノデアリマス、ソレハ多クハ同一事件デアリマスルニ依ツテ之ヲ事件トシテ縮メマスレバ頗ル減縮致シマスルノデアリマス、是ガ今日マデ委員會ニ於キマシタル經過ノ概略デゴザイマス、院議ニ付シマシタルモノハ前申述べマシタル諸君ノ御手許ヘ同ツテ居ル次第デアリマス、ソレデ御覽ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレデ今一ツ院議ニ付スベキモノトシテ御手許ヘ同ツテ居リマスルモノ、中ニ訂正ヲ少シ致サナクテハナラヌモノガゴザイマス、之ヲ申上ゲテ置キマス、即チ其議案中ノ四枚目ニ屬シマスル大日本尙武社設立云々ノ末文デゴザイマス、末文ノ三クダリ目カラ讀ミマスデゴザイマス、正誤ハニク

ダリ目ニ在リマス「一部ヲ各部兵談會費トシ一部ヲ府縣選出軍人志願者養成費等ニ充ツルニ在リ」斯ノ如クスレバ兵事獎勵ノ實效洵ニ顯著タルヘク」此下ニ「依テ政府ニ於テ保護統轄シ全國一體ノ組織ヲ設ケ以テ兵事獎勵ノ實ヲ擧ケラレタシトノ旨趣ニシテ」是レダケノ文ガ脫漏致シマシタル、此所ニ正誤ヲ致シテ置キマス、報告ハ概略右ノ通デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○伯爵廣澤金次郎君 委員會ヲ開キタウゴザイマスガ、宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、明治三十四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)審査期限ヲ定ムルノ件、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)審査期限ヲ定ムルノ件、此兩件ヲ……

○子爵谷干城君 此期限ハ明日正午マデニ報告ヲ致スコトニ致シタウゴザイマスルガ、皆サン御異議ハゴザイマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ其通決シマス

○子爵谷干城君 此次ニ議事日程ヲ變更セラレマシテ、此追加豫算明治三十四年度歳入歳出總豫算追加案ト言ヒマスルノト、ソレカラシテ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、ソレカラシテ特第一號明治三十四年度特別會計歳入歳出豫算追加案、此三ツヲ矢張明日正午マデニ審査スルコトニ御決シニナルコトヲ希望シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵ノ動議ハ日程ヲ變更シテ今述べラレマシタル追加豫算ヲ議シタイト云フコトデアリマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) サウスルト期限ハ明日ノ正午マデト云フ、是モ御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十日

右特別委員長

子爵 平松 時厚

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔子爵平松時厚君演壇ニ登ル〕

○子爵平松時厚君 唯今議ニ上ボッテ居リマス所ノ議案ニ附キマシテ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ一昨二十日委員會ヲ開キマシテゴザイマス、又其説明ヲ政府ヨリ承リマスルノニ、既ニ此理由書ニゴザイマスルヤウナ次第デゴザイマシテ、極ク簡短ナモノデアリマス、目下北海道ノ鐵道ニ於キマシテ停車場ガ二十七箇所、工場ノ如キモ二箇所アルト云フコトデアリマス、漸々事業ハ發達致シマスル積デアリマスルガ、併シ乘車賃ノ拂戻及貨物運賃ノ拂戻ヲ致シタリ又ハ工場ニ於テ臨時雇ノ人足ノ賃錢等モ拂ヒマス其事ニ附キマシテ、一々道廳ニ出マスレバ餘程ノ里數モアッテ凡ソ其里數ガ一番近イ所デ三四十里位ト申スコトデアリマス、ソレ故ニ其場合ニ甚ダ不便デアルカラ即チ此官吏ニ現金前渡ヲ致シタイト云フノ精神デアリマス、別段之ニ格別議論モゴザイマセナンダデゴザイマス、併ナガラ尙ホ會計法等ニ關シテ不都合ナコトハナイカト存ジマシタ所ガ、既ニ會計法第十五條ニモ即チ此議案ノヤウナコトガ既ニ除外例ニナッテ居リマスル譯デアリマス、其會計法ノコトヲチヨット御參考マデニ御話ヲ致シマスルガ會計法第十五條ニ「左ノ諸項ノ經費ニ限リ國務大臣ハ主任ノ官吏ニ委任シ又ハ政府ノ命シタル銀行ニ委任シテ現金支拂ヲナサシムル爲ニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得」斯ウ云フコトデアリマス、其各條ト云フノハ國債ノ元利拂トカ或ハ軍隊軍艦ナドニ關シマスコト、又運輸通信ノ不便ナル内國ノ地方ニ於テ仕拂ヲ爲スコト又ハ場所ノ一定セザル事務所ノ經費ナド、云フヤウナコト竝ニ各廳ニ於テ直接ニ從事スル工事ノ經費ト云フヤウナコト、一カラハマデ澤山アリマス、サウ云フヤウナ次第デアリスカラ、詰リ此案モ其除外例ニシタイト云フ積デアリマス、一向異論モアリマセズ僅ニ一時間位ノコトデ議決致シマシタヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ又委シイコトガ御尋ナラバドウカ政府委員ニ御尋ヲ願ヒマス、右様ナ次第デゴザイマシテ唯一回デ速ニ議決ヲ致シマシタ、終ニ臨ミマシテ此案ハ簡單ナル次第デマリマスカラ讀會ヲ省略シテ速ニ可決アラシコトヲ希望シマス

〔讀會省略賛成〕ト呼フ者アリ

○田中源太郎君 賛成

○子爵一柳末德君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

○中西光三郎君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○子爵鍋島直柔君 賛成

○折田平内君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ハ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、然ラバ讀會ヲ省略致シマス、……本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス、漁業法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

漁業法案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十日

右特別委員長

子爵 京極 高典

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔第二十八條以下條數ニ二條ツ、繰上ノ修正アレドモ法文ニ修正ナキ分及修正ナキ箇條ハ掲載ナラズ〕

第七條。漁業權ハ相續、讓渡、共有及貸付ノ目的ト爲スコトヲ得但シ地先水面專用ノ漁業權ヲ處分スルハ行政官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十三條。漁業免許若ハ其ノ更新ヲ拒否セラレタル者又ハ第八條、第九條若ハ第十四條第二項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ處分ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十四條。漁業免許ノ違法許可若ハ其ノ更新ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條 削除

第二十六條 削除

第二十五條〔原案第二十七條〕漁場ノ區域、漁業權ノ範圍又ハ漁業ノ方法

ニ付漁業者ノ間ニ爭アルトキハ關係者ヨリ行政官廳ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル申請者又ハ爭議ノ相手方ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 此法案ニ附キマシテ委員長カラ致シテ報告ガアリマス等ゴザイマシタガ、此事ハ本員ガ最初ヨリ關係致シテ居リマスルカラ本員ニ代ッテ報告致セト云フ御依託ガゴザイマシタ、即チ本員ガ委員長ニ代リマシテ是ヨリ報告致シマス、此委員會ハ一昨二十日ニ開キマシテ委員中一人ノ病氣關席ガアリマスル外ハ殘ラズ出席致シ、且ツ政府委員モ出席ノ上、十分審議ヲ遂ゲマシタ上、斯ノ如ク修正ヲ致シマシタ、一體此法案ハ本員カラ致シマシテ二回提出ヲ致シ又政府ハ此度デ丁度三回提出ヲ致シテ居リマスル、然ル所ニ一昨年ト昨年ハ本院ハ通過ヲ致シマシタガ、衆議院ニ於キマシテ二回トモ否決致シマシタ、遂ニ今日マデ成立チマセヌデ來テ居リマス、然ル所今回衆議院ニ於キマシテ此漁業法案ノ提出ガゴザイマシテ、且ツ又政府カラモ法案ガ出マシテ衆議院カラシテ提出ガアリマシタ故ニ政府ガ今回ハ衆議院ヘ先キヘ此漁業法案ヲ出シタト云フコトデアリキス、ソレデ委員會ニ於キマシテ段々審議ヲ致シマシタ上ハ成ルベク衆議院ノ修正ニ我々ハ賛成ヲ致シタイト云フ考デ審查ヲ致シマシタ、尤モ此中ニハ文字上其他ニ於キマシテ少々修正ヲ致シタイヤウナコトゴザイマスルケレドモ、先ヅ瑣々タルコトハ此儘ニシテ、成ルベク衆議院ノ修正ノ通デ事ニ害ノナイ限ハ成ルベク修正ヲスマイト云フ趣意ヲ以テ審查ヲ遂ゲマシタノデソレデ、是ヨリ委員會ニ於キマシテ修正ヲ致シマシタ所ノ各條ニ附イテ辯明ヲ致シタイト存ジマス、ソレデ昨年本院ニ於キマシテ提出致シマシタル所ノ議案ヲバ今回ハ政府ガソレヲ基トシテ、ソレニ多少修正ヲ加ヘテ政府カラ此案ヲ提出致シマシタ、故ニ先ヅ大體昨年本院ニ於キマシテ提出致シマシタル所ト先ヅ同ジコトデアル、ソレ故ニ一條カラ二條マデト申シマスモノハ昨年本院ニ於キマシテ提出致シマシタル所ト少モ違ヒナイ、四條ト五條ガ今回ハ新ニ政府カラ出マシタ事柄デゴザイマス、是ハ此水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スト云フコトヲ加ヘマシタ、トコ

ロガ衆議院ニ於キマシテ四條五條ノ政府案ニ修正ヲ致シマシタ、其趣意ト申シマスモノハ四條ノ二項ニ「行政官廳ハ漁業ノ種類ヲ規定シテ免許ヲ與フルコトヲ得」トゴザイマスルガ、此文デ見マスルト是マデノ慣習ト云フモノモ矢張り打破ラント云フヤウナ意味ガ其中ニ在リハシナイカト云フ心配カラ致シマシテ衆議院ニ於キマシテハ從前慣行ノアルモノハ慣行ニ從ッテ貫ヒタイト云フ所ノ趣意ヲ以テ此四條五條ハ修正ニナッテ居リマス、是ハ衆議院ノ修正ガドウモ當然ト存ジマスルカラ此通ニ賛成致シマシタ、ソレカラ又六條モ昨年通デゴザイマスルガ唯二項ニ「免許期間ハ免許ヲ受ケタル者ノ申請ニ因リ」ト云フ字ガ加リマシタ、是ハ格別ノ意味ノ違モゴザイマセヌカラ衆議院ノ修正ヲ採用致シマシタ、ソレカラ此七條、七條ハ政府ノ案デゴザイマスル二項、三項、四項ト斯ウ云フ風ニ分ケテゴザイマスルガ、是ハ昨年ノ案デゴザイマス「免許ヲ受ケタル漁業權ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス」トゴザイマスガ、處分ト云フコトデ廣クアリマシタノヲ今度ハ政府ガ「漁業權ハ相續、讓渡、共有及貸付ノ目的ト爲ルノ外私權ノ目的ト爲ルコトヲ得ス」ソレカラ漁業權ト云フモノハ行政官廳ノ認可ヲ經ナケレバナラヌトカ、或ハ漁業組合ニ於テ事業ノ免許ヲ受ケタルトキハ、其漁業權ヲ處分スルコトハ出來ナイト云フヤウナ區別ヲ付ケテ出シマシタガ、衆議院ニ於キマシテハ此間ニ「貸付及抵當」ト云フ字ヲ加ヘ「目的ト爲スコトヲ得但シ地先水面專用ノ漁業權ヲ處分スルハ行政官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス」ト斯ウ云フコトニシマシタ、政府案デゴザイマス「認可ヲ受クルコトヲ要ス」ハ許可ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナコトデゴザイマスガ、サウ云フコトデハ實際差支ヘルコトモアルシ手數モ要スルガ、帳簿ニ記載シテ置ケバ差支ナイダラウト云フノデ、斯ウ云フ風ニ修正ニナリマシタ、是モ至極宜カラウト云フノデ委員會デハ其通致シマシタガ、何分衆議院ノ修正ニ同意ノ出來ナイノガ一ツゴザイマス、ソレハ「及抵當」ト云フコトヲ入レタ、此抵當ト云フコトヲ入レタノハ何分ニモ同意ガ出來マセヌ、ト申スモノハ抵當ト申スノハドウシテモ不動産ノ抵當デゴザイマスカラ抵當ニ致シマスルニハ、ドウシテモ此登記ヲシナクテハナラヌ、トコロガ不動産デゴザイマセヌカラ登記スル手續ガ出來ナイ、トコロガ抵當ト云フモノハ今日ハ何デモ一ツノ物ヲ抵當ニスルコトガ出來ルモノデゴザイマスカラ、登記ヲシテ置キマセヌト誰ガ權利ヲ先ニシテ宜イカガ分ラヌ、甚ダ實際ニ於テ抵當ト云フモノハ不安ト云フモノニナルダラウ、トコロガ不動産ノ抵當デゴザイマスレバ先ニ抵當ヲ取リマ

シタ者ガ登記ヲシテ置キマスレバ其者ガ第一番ニ其物ヲ取リマシテ、アトノ殘リノ物ヲアトノ者ガ取ルト云フコトガ出來マスガ、是ハ不動産デゴザイマセヌデ漁業ノ權利バカリデゴザイマスカラ、サウ云フコトヲ致ス譯ニハイキマセヌ、サウカト云フテ隨分北海道其他ニ於テ漁業權ヲ抵當、抵當ト云フコトヲ實際ハヤッテ居リマススケレドモ、ソレハ本當ノ抵當デハナイ、ソレヲ擔保ニシテ金ヲ借りルダケデゴザイマス、ソレハ今日ノ儘ニシテ置キマシテ差支ナイダラウト存ジマスガ、併シ抵當ト云フ文字ハ法律上茲ニ置ク譯ニイキマセヌカラ、ソレ故ニ是ハドウモ何分ニモ贊成ヲスルコトガ出來マセヌ、ソレノミナラズ之ヲ置キマシタラバ他ノ法律上ニ非常ナ影響ヲ及シテ困リマスカラ、是ダケハ已ムヲ得ズ削除ヲシマシタ、ソレカラ八條ハ是ハ昨年ト違ヒマセヌ、昨年ハ自然ニ消滅スルヤウニナッテ居リマシタガ、當年ノ法案デハ「行政官廳ニ於テ其免許ヲ取消スコトヲ得」ト云フコトニシマシタ、ソレダケノ違デゴザイマス、ソレカラ衆議院ニ於テ「但シ行政官廳ノ認可ヲ受ケ休業シタルトキハ此ノ限ニ在ラス」ト云フ字ヲ加ヘマシタガ、是モ別ニ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ休業シタモノハ無論ノ話デゴザイマスカラ、是モ委員會ニ於キマシテハ衆議院ノ通ニ致シマシタ、ソレカラ二項ヲ新規ニ今度政府ガ加ヘラレタデス、是モ別ニタイシタコトハゴザイマセヌカラ意味ニ於テ違ガアリマセヌカラ、是モ此儘ニ致シマシタ、ソレカラ九條、十條、十一條モ昨年ノ通デゴザイマス、十二條ニ至リマシテハ是モ趣意ニ於キマシテ少シモ違ヒガナイノデゴザイマスガ、唯此「損失ハ其ノ請求ニ依リ之ヲ補償スヘシ」ト云フ此請求ト云フ字ガ今度這入リマシタ、昨年ハ請求ガナクテモ拂フヤウナ趣意ニナッテ居リマシタガ、當年ハ「請求ニ依リ」ト云フ字ガ加リマシタダケデ、是モ瑣々タルコトデゴザイマスカラ此通ニ致シマシタ、ソレカラ十三條、十三條モ昨年ノ通デゴザイマスガ、第四號ノ所ニ「水産動植物ニ有害ナル物質ノ遺棄ニ關スル制限又ハ禁止」ト云フ字ガ今度ハ加リマシタ、是モ加リマスル方ガ却ッテ完全ニナリマスカラ是モ此通ニ從ヒマシタ、昨年ハ十三條ガゴザイマシテ此漁業ト申スモノガ漁業者デナイ者デモ此法律ハ及ボスト云フヤウナコトガアリマシタガ、適用スルコトヲ得ト云フコトガゴザイマシタガ、斯ウ云フ禁止制限ト云フモノハ一般ニ及ブモノデゴザイマスカラ、是ハナクテモ十分分ルコトデアルト云フノデ政府ガ削リマシタ、是モ其方ガ宜カラウト存ジマス、ソレカラ第十四條ト第十五條、第十六條、第十七條ナドハ昨年通少モ違ヒマセヌ、唯十七條ノ「命令」ト云フ字ガ昨年ハ「勅令」ト爲ッテ居リマ

シタ、ソレダケガ違フ、ソレカラ十八條、昨年ハ十八條十九條合ハシタモノデゴザイマス、昨年ノハ漁業組合ト申シマスルモノハ總テ此一ツニ包括シテゴザイマシタノヲ當年ハ漁業組合ト云フコト、水産組合ト云フコトヲ區分ヲシテ、漁業組合ハ一村トカ一部落トカ小サナモノカラ組立ツモノ、水産組合ト云フ方ハモット大キク致シテ或ハ一縣一郡ニ互ルモノカラ成立ツヤウニ大キク致シマシテ、漁業組合ハ漁業ヲ主ト致シマスル漁業者ノミノ組合ト云フコトニ今度致シマシタ、ソレダケノ違デゴザイマス、ソレカラ末項ノ「北海道」云々ト云フコトガ今度新ニ這入リマシタ、昨年モ此意味ハアリマシタガ唯表面書イテ居ラスノデシタ、十九條カラ二十一條ト云フモノハ昨年ノ政府ノ案ノ二十二條ニゴザイマシタ、然ル所ガ昨年ノ漁業組合ト云フモノハ水産組合カラ何カラ一括シテゴザイマシタカラ、斯ウ云フモノハイラヌト云フノデ、昨年ハ本院ニ於テ削除致シマシタ、當年ハ區分致シテ見マスルト、斯ウ云フゴトハ必要デゴザイマスカラ更ニ是ダケノモノヲ政府ガ加ヘテ出サレタノデゴザイマス、是モ本院ニ於キマシテハ……委員會ニ於キマシテハ一向異議モナイコトデゴザイマスカラ其通致シマシタ、ソレカラ二十二條デス、是ハ昨年ノ政府案ノ十八條デ、漁業組合ニ包括シテゴザイマシタノヲ唯今報告致シタ通分割致シマシタ結果、此條ヲ新規ニ設ケルコトニナリマシタ、即チ是ガ漁業組合ト水産組合ト別ニナリマスル所カラ、斯ウ云フモノハ水産組合ニスルト云フコトヲ設ケマシタ、ソレカラ二項ハ昨年ノ二十一條ニゴザイマスルコト、少シモ異リマセヌ、ソレカラ二十三條、此二十三條ハ昨年ノ二十四條デハ二十三條ト二十七條ト之ヲ二條ニ區別ヲシテ之ヲ設ケマシタ、是ハ利害關係者カラ廣ク訴願ヲ許シマシテ此本條デ處分ヲ受ケタル者ガ不服ナルトキハ訴願ヲ許スヤウニ致シマシタ、昨年ハ廣クシテゴザイマシタガ、本年ハ不服ナルトキ、處分ヲ受ケタル者バカリト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ此中ニ「若ハ其ノ更新」ト云フコトガ衆議院デ加リマシタ、是ハ更新ノ場合ヲ入レナケレバ拔ケテ行クダラウト云フ趣意デゴザイマス、是モ加ヘタ方ガ宜カラウト云フコトデ此通ニナリマシタ、ソレカラ「若」カラ「トキ」マデ削除ニナリ居リマスノハ前ノヲ削リマシタ結果、是モ削リマシタノデ、ソレカラ二項ニ於キマシテ此「前項ノ處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ」ト云フ所デ、此「違法」ト云フコトヲ衆議院デ削除ニナリマシタガ、是モドウモ何分ニモ此違法ト云フコトヲ削除ニ致シマスルト云フト、總テノ處分デモ矢張行政訴訟ヲ起スヤウニ見エマスル、然ル所ドウモ此行政訴訟ト申シマスモノハ

違法處分デナケレハ行政訴訟ガ出來スコトニ一般ニナツテ居リマスルシ、既ニ憲法上ニモ「行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟ニシテ」云々ト云フコトニナツテ居リマスカラシテ、此處デ違法ト云フコトヲ削リマスルト、他ノ法律ニモ段々響クコトガゴザイマス、多クノ法律ガ皆違法處分ノ權利ヲ傷害セラル、ト云フコトニナリマスカラ、此「違法」ト云フ字ハ衆議院デハ削除ニナリマシタガ、ソレハドウシテモコナラデ復活ヲシテ置カナケレバナラス、極ク近頃ノ法律デ昨年ノ土地收用法ニモ此通ノ文字ガ加ッテ居リマスカラ、ソレ故ニ此「違法」ト云フ字ハ委員會ニ於テ復活ヲ致シマシタ、此以下段々衆議院ニ於キマシテ「違法」ト云フ所ガ削除ニナツテ居リマスガ、ソレ等ハ總テ復活ヲ致シマシタカラ左様御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二十四條、是モ昨年ノ二十四條ノ二項ト同ジコトデゴザイマス、唯衆議院ニ於キマシテ「若ハ其ノ更新」ト云フ字ガ加リマシタ、是モ叮嚀ニ是ダケノコトガ加リマシタコトデゴザイマスカラ、委員會ニ於テハ是ニハ少シモ異議ハゴザイマセヌ、ソレカラ二十五條ト二十六條是ハ委員會ニ於テ削除ヲ致シマシタ、是ハ衆議院デハ此儘デ通シテ參リマシタガ、委員會ニ於キマシテ何分ニモ是ハ此儘ニ置ケマセヌ、ト申シマスル理由ト申スモノハ、既ニ是ハ昨年モ此條ガゴザイマシタ、昨年ハ補償金額ニ對シテ不服アルトキハ六箇月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得ルト云フ文デゴザイマシタ、トコロガ當年ハ此通常裁判所ト云フコトヲ止メマシテ、是ハ行政裁判所ヘ持出スヤウナコトニ此度ハ修正ニナツテ參リマシタ、トコロガ總テ要償ノコト、申シマスルモノハ、河川法ニ致セ砂防法ニ致セ、昨年ノ土地收用法ニ致セ、總テ通常裁判所ニ屬スルコトニナツテ居リマス、ソレデナゼ此度他ノ法律ニハ總テ通常裁判所ニナツテ居リマスルモノヲバ、政府ニ於テソレヲバ行政裁判所ヘヤルヤウニ致シタト云フ主意ヲ尋テ見マスルト、是ハ法典調查會ニ於キマシテ行政裁判法ト云フモノガ今度改正ニナル、其改正案ノ中ニ斯ウ云フ總テノ行政上カラ出タル要償ト云フモノハ行政裁判所ヘ出訴ヲサセルト云フコトノ規定ニナツテ居ル趣デゴザイマス、然ル所今日ハマダ其法律ガ出ナイ、行政裁判法ト云フ改正案ガ政府ニモ提出ニナラヌ中ニ、其草案ニサウ云フコトガアルカラシテ、是モ同ジク行政裁判所ヘ出スト云フコトハ少シク早計デハナイカ、ソレノミナリマセズ是ハ隨分學者間ニ於テ一問題ノ事デゴザイマス、是ガ本院ニ出マシタナラバ中ニ是ハ議論ノアルコトダト本員ナドハ豫想シテ居リマス位ナ譯デゴザイマス、サウ云フモノデゴザイマスカラ、ソレヲ豫メ今草案ニ在ルカラトシ

テ是ニ出スト云フノハ甚ダ不都合ナコトデアル、他ノ法律ニサウ云フコトガアルカト云ヘバ、他ノ法律ニハ悉ク要償ノコトハ通常裁判所ヘ持ッテ行クト云フコトニナツテ居リマス、ソレ故之ヲ削除致シテ置キマシタナラバ、無論此損害要償等ハ是ハ通常裁判所ヘ持ッテ行クト云フコトハ明ニナリマスコト故ニ總テ削除致シマシタ、昨年ノハ成ルベク早く訴訟ヲサセルタメニ期日ガ六箇月ト云フコトニナツテ居リマシタ、併シ斯ウ云フコトハサウ云フ期日ヲ定メマセヌデモ、銘々チットモ早く持ッテ行カウト云フコトハ分リキッテ居ルコトデアリマスカラ、サウ云フ期日ヲ定メテ置キマセヌデモ、此場合ニハ普通裁判所ヘ持出サセルト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ二十七條、是ハ昨年二十三條ノ一項二項ヲ包含シテ設ケタモノデゴザイマス、一項ハ漁場一般ノ爭ノ場合ヲ申シマスシ、二項ハ行政裁判所ヘ出ス場合デゴザイマス、此中「又ハ漁業ノ方法」ト云フコトヲバ衆議院デ加ヘラレマシタ、是モ之ヲ加ヘラレタ方ガ完全ニナルコト、存ジマスカラ、委員會ニ於テモ之ヲ贊成ヲ致シマシタ、其他ノ事ハ預々タルコトデゴザイマスカラ無論異議ハゴザイマセヌ、ソレカラ二十八條、是ハ昨年ノ二十六條ト少モ主意ハ異ナリマセヌ、唯此中ニ「免許ノ停止中」ト云フ字ガ加リマシタ、ソレモ加リマスル方ガ當然ト存ジマシテ、委員會ニ於キマシテハ其儘ニ致シマシタ、ソレカラ二項ハ是ハ新ニ「但シ」以下ヲ加ヘタノデ、其「但シ」以下ヲ加ヘマシタト申スモノハ、是ハ漁獲物ヲ既ニ賣渡ストカ無クシタ時ニ代金ヲ追徴サセルト云フ主意ヲ以テ是ダケハ新ニ政府デ加ヘマシテ、是モ其方ガ完全デアラウト存ジマスカラ、是モ委員會ニ於キマシテ贊成ヲ致シマシタ、ソレカラ二十九條ハ新タノ條デゴザイマス、ソレカラ三十條、此第三十條ト云フモノハ、是ハ衆議院ニ於キマシテ新ニ設ケマシタ條デゴザイマス、是ハ一昨年ノ法案ニハ矢張此事ガゴザイマシタ、トコロガ今回ノ法案ニハ此事ガゴザイマセヌ故ニ、衆議院ニ於キマシテ一昨年ノ法案ノ如ク此條ヲ加ヘマシタ譯デゴザイマス、是モ加ヘマスル方ガ宜シカラウト云フノデ、委員會ハ是モ贊成ヲ致シマシタ、ソレカラ三十一條、此三十一條ハ昨年ノ二十七條ト全ク同ジ事デ、ソレカラ三十二條ハ是ハ新規ニ加リマシタ、是ハ昨年本議場ニ於キマシテ大分喧マシイ議論ノゴザイマシタ即チ此法人ニ罰ヲカケルト云フアノ事デ、即チ法人ノ場合ヲ茲ニ定メ置キマシタ譯デ、ソレカラ附則ニナリマシテ此三十三條ニ「明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フコトヲ衆議院デ加ヘマシタ、政府案デハ勅令ヲ以テ定ムルト云フ所ヲ衆議院デ斯ク極メマシタコトヲ政府委員ニモ尋テ見マスルト、衆議院デハ成ル

ベク早くシテ欲シイト云フ希望デゴザイマシタ、トコロガ政府ニ於キマシテハ此慣行漁業マデモ縛ラレコトハ中々少クモ一年半ハ掛ルシ、隨分四年モ五年モ掛ルダラウ、ソレ故サウ早くハドウモ是ハ出來ヌト云フコトデ、ソレデ衆議院ニ於キマシテ、ソレナラバ三十五年ノ七月一日マデニ一年半程モ置イテ、サウシテ施行スルヤウニシタイト云フコトデ、政府ト折合ッタト云フコトデゴザイマス、ソレ故委員會ニ於キマシテモ斯ノ如ク矢張同意ヲ致シマシタ、併シ本員一己ノ考デハモウ少シ早くシテ欲シイ、成ルタケ早く是ハ施行シマセヌデハナナルマイ、今日政府ガドウシテモ三年モ五年モ掛ルトハ言ハレマスケレドモ、ソレナラドウダト云フト、一昨年政府ガ法律案ヲ出シマシタノニハ三十三年一月一日ヨリ施行スルト云フコトヲ出シテ居リマスカラ、若シ一昨年アノ案ガ通りマシタナラバ、昨年ノ一月カラ此漁業法ハ施行サレテ居ル、ソレデゴザイマスカラ、一日モ早く是ハヤリタイ、トコロガ衆議院デ之ヲ修正ヲシテ、政府モ早く出來ヌト云フコトナラ致方ハアリマセヌガ、本員一己ノ考デハ出來ヌコトハナカラウ、ナゼ出來ヌコトハナカラウト云フノニ、既ニ一昨年ノ法案ニ昨年ノ一月カラ之ヲ施行スルト云フコトヲ政府ガ出シテ居ル位デゴザイマスカラ、出來ヌコトハナカラウト存ジマスケレドモ、ドウモ政府ガ出來ヌト言ヘハ致方ガゴザイマセヌ、併シ是等ノコトハ後日我ガ篤ト考ヘマシタ所デ、修正ノ出來ヌコトハナイト存ジマス、ソレカラ三十條、是ハ昨年ノ二十九條ト全ク同ジ事デ、ソレカラ三十四條モ昨年ノ三十條ト全ク同ジ事デ、ソレカラ三十五條、是モ昨年ノ三十一條ト同ジ事デ、第二項ニ於キマシテ「其ノ他ニ在リテハ」ト云フ字ガ加リマシタ、是ハ其免許ヲ出願シナイ者ト雖モ、一年間ハ漁業ガ出來ルト云フコトヲ、是デ明ニ致シマシタ、是ガ加リマシタ方ガ明瞭ニナラウト存ジマシテ贊成ヲ致シマシタ、ソレカラ三十六條、是モ昨年ト同ジ事デ、唯水産組合ト云フコトガ此處ニ加リマシタダケデ、昨年ハ漁業組合ト爲ッテ居リマシタノヲ、前ノ修正ノ結果之ヲ水産組合ト致シマシタ、此外ニ修正ヲ致シマシタ所ハゴザイマセヌ、先ヅ大要ス様ナ譯デゴザイマスカラ、此案ハ隨分是マデ長ク掛リマシテ未ダニ成立チマセヌデ、漁業者一同ガ困ッテ居ル譯デゴザイマスカラ、ドウゾ今回ハ速ニ御贊成ヲ願ヒマス

○男爵船越衛君 本案ハ委員諸君ノ御盡力ニ依ッテ速ニ御調査ニナリマシテ、唯今村田君カラ段々御報告ガアリマシタガ、唯茲ニ一ツ伺ヒタイノハ、昨年ノ議會デ貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘマシタ第二十三條デゴザイマス、漁場ノ區域

又ハ關係漁業者ノ住所ノ所在地カ一道廳府縣ノ管轄以外ニ涉ルトキハ主務大臣ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得」斯ウ云フコトガ昨年ノ本院ノ修正ニハ載セテアル、此字句ハ今度ノ案ニハ無イヤウデアリマス、大層必要モアルマイカトモ思ヒマスガ、私ハ有ッタ方ガ宜イト思ヒマス、無イ主意ハ何レ御研究モゴザイマシタラウガ如何デゴザイマス

○村田保君 ソレダケデスカ

○男爵船越衛君 左様

○村田保君 ソレハ唯今報告ニ及ビマシタ通二十七條ト申シマスモノガ昨年ノ二十三條ノ一項二項ヲ包含シテ設ケタモノト申上ゲマシタ、即チ今度ハ二十七條ノ中ニ廣ク是等ヲ包含シテ、勿論一項二項トモ這入りマシタト云フトヲ申上ゲマシタ積デゴイマス、御分リニナリマシタカ

○男爵船越衛君 ソレハ包括シテ居ルノデスカ

○村田保君 ソレハ二十七條ノ漁場ノ區域其ノ他漁業權ノ範圍ニ付漁業權者ノ間ニ爭アルトキハ……

○男爵船越衛君 アレデ宜イノデスカ

○村田保君 アレデ宜イ積デアリマス

○男爵船越衛君 モウ少シ……トコロデアレデイケマイト思フノタガ、管轄以外ニ涉ルトキハ「ト云フコトガアレデハ分ルマイト思フ

○村田保君 管轄以外デモ總テサウ云フモノハ主務大臣ヘ持ッテ行カナケレバナラヌノデスカラ、ソレハモウ無論ニ或ハ一地方ナラ其行政長官ニ持ッテ行ク、ソレカラ他ノ縣ニ涉ルト云フヤウナモノハ、ドウシテモ主務大臣ニ之ヲ持ッテ行カナケレバイケマセヌ

○男爵船越衛君 ソレダケデ……

○村田保君 ソレデ分ル積デアリマスガ……

○男爵船越衛君 デモ少シ……管轄以外ニ涉ルト云フコトハ臺灣ナドヲ指シタノデハゴザイマセヌカ、昨年ノ……

○村田保君 臺灣ナド……ドウ云フ風ナコトニ臺灣ナドガゴザイマセウカ、コチヲト臺灣ト何ゾ漁場ノ爭ガ……

○男爵船越衛君 管轄以外ニ涉ル……

○村田保君 管轄以外ニ涉ルト云フノハ一縣バカリデナク二縣ニ涉ル、或ハ青森縣ト北海道ニ涉ルトカ云フノガ管轄以外ニ涉ルノデアリマス

○男爵船越衛君 大概分リマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ本案ハ二讀會ニ移スベキヤ否
ヤノ決ヲ採リマス、本案ハ二讀會ニ移スベシトシテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○子爵京極高典君 直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ直ニ二讀會ニ移リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一條ヨリ第六條マデ……御異議ガナクバ原案ニ
決シマス、次ハ第七條

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第八條ヨリ第二十二條マデ原案ニ御異議ハア
リマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ二十三條……委員會ノ修正ニ御異議ハアリマ
セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ二十四條

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員會ノ修正ニ御異議ガナクバ其通ニ決シマス、
次ハ二十五條、二十六條、是ハ委員會ノ修正デハ削除ニナツテ居リマス、是ハ原
案ニ就イテ決ヲ採リマス、原案ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 ナシ

○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者ガアリマセヌカラ削除ニナリマシタ、次ハ
第二十七條即チ修正ノ第二十五條デス……委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ二十六條、原案ノ二十八條ヨリ終リマデ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○子爵京極高典君 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者數名アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ三讀會ニ移ツテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ三讀會ヲ開キマス……御異議ガナクバ原
案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ畜牛結核病豫防法案、政府提出、第一讀會ノ
續、特別委員長報告

畜牛結核病豫防法案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十日

右特別委員長

公爵 二條 基弘

貴族院議長公爵近衛篤磨君

〔特別委員長ノ修正ニ係ル條ノミヲ掲載ス〕

第一條 乳用牛、外國種牛及雜種牛ハ結核病ノ有無又ハ輕重ヲ定ムル爲行
政官廳ニ於テ之ヲ検査ス結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ニ付テモ亦同
シ

第二條 乳用牛、外國種牛、雜種牛及結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ノ
検査ハ「ツベルクリン」注射ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

第五條 結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又
ハ管理者ニ於テ之ヲ隔離スヘシ

第十五條 手當金ヲ受クヘキ者其ノ全部又ハ一部ヲ拒否スル處分ニ不服ナ
ルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

〔高木兼寛君演壇ニ登ル〕

○高木兼寛君 委員長及副委員長ノ都合ニ依リマシテ本員ガ代リ委員會ノ經
過並ニ結果ヲ報告致シマス、本委員會ハ去ル二十日議事ノ前後兩度ニ開キマ
シテ、此理由書ニ在リマスルガ如ク牛乳及牛肉ノ需要ハ年々歲々大イニ増加
致シツ、アル次第デアリマスル故ニ、畜牛ノ改良及其蕃殖ヲ圖ルハ今日ノ急
務ト爲ツテ居ル次第デアリマス、然ルニ今日ノ儘ニ無法律デ措キマスレバ不

良ナル牛乳及牛肉ヲ得テ多數人民ノ食料ト致スコトニナリマスル故ニ、延イテ國民ノ健康ヲ害スルト云フコトニ立至ル次第デアリマスル所カラ、十分ニ政府委員ニ質問致シ審議ヲ盡シテ別冊ノ通修正ヲ加ヘマシタ、修正ヲ加ヘマシタル簡條ハ第一條デ「乳用牛、外國種牛」ト申ス下ニ「及」ト云フ字ヲ加ヘマスノデゴザイマス、第二條ノ「乳用牛」ノ下「種牡牛」トゴザイマスガ、是デハ第一條トノ關係上都合デナイト認メマシテ「外國種牛、雜種牛」ノ七字ヲ加ヘヘルコトニナリマシタ、デ第五條ハ原案ノ通デゴザイマシテハ資格ガ不明デアリマスル所カラ「所有者又ハ管理者ニ於テ」ノ十字ヲ加ヘルコト、爲リマシタ、第十五條ノ第二項ハ全然削除スルコトニナリマシタ、デ其理由ハ本條ノ如キ事件ニ關係致シマシテハ現今ノ法律上普通裁判所ニ於テ取扱フベキ事柄ト爲ッテ居リマスル所カラ此處ニナイ機關ヲアテニ致シマシテ今日取扱フコトニナッテ居ル所ヘ、之ヲ取扱ハスルト云フ如キコトヲ入レ置クハ都合デナイト云フ所カラ之ヲ削除ニナリマシタ次第デアリマス、此通デ可決致シマシテ法律ト爲リマスレバ本年七月一日ヨリハ外國ヨリ、結核ニ罹ッテ居リマスル病牛ヲ輸入スルノ憂ヲ絶チ、尙ホ三十六年七月一日ヨリ内國ニ居リマスル牛デ結核病ニ罹ッテ居リマスルモノ、取締モ十分ニ出來ルト云フコトニナリマスル次第デアリマスル、即チ其理由ノ通デアリマスル故ニ、本案ハ速ニ制定スル必要ガアルモノト認メマシテ、一人ノ異論者モナク別冊ノ通修正致シマシテ可決スベキモノト決議致シマシタ次第デアリマス、右御報告申上ゲマスコトニ三宅秀君 特別委員ニ御尋ヲ致シタイ簡條ガゴザイマスガ、此第十六條ノ中ニ在リマスル「畜牛結核病豫防ニ關スル費用ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ國庫、府縣及一個人ニ於テ之ヲ負擔ス」トアリマスガ、此割合ハ略、ドノ位ノモノデアリマセウカ、或ハ非常ニ一個人ノ負擔ガ重クナッテハ随分迷惑スルモノガアリハシナイカト思ヒマスガ、大體ノ所デ宜シウゴザイマスカラ、定メテ政府委員ニ其邊ハ御確メニナリマシタラウト思ヒマスカラ、チヨット大體ノ割合ヲ伺ヒマス

○高木兼寛君 本條ニ就キマシテハ随分質問モ致シ政府ノ答辯モ得マシタガ、是ハ「國庫、府縣及一個人ニ於テ」ト云フヤウナ譯デアリマシテ、複雑致シテ居リマスル故ニ、本員ヨリ申上ゲテ間違デモアリマシテハ差支ガアリマスルカラ、ドウゾ政府委員ヨリ御答辯ヲ願ヒマス

○村田保君 是ハ委員會ニ於テ私モ委員ノ一人デアリマスガ、是ハ皆尋チタコトデアリマスカラ政府委員ヲ煩ス程ノコトハナイト思ヒマス、委員會ニ於

テ國庫カラ出シマスノハ手當トカ消毒費トカ云フヤウナ趣デアリマス、府縣ノ費用ト申シマスノハ府縣ノ醫員ニ手當ヲ遣ルコト、一個人ト云フノハ牛ヲ曳イテ來ル駄賃トカ云フヤウナモノデアルト云フ答辯デアリマシタ、委員會デハソレダケノコトヲ尋チマシタノデ、宜シク御承知ヲ願ヒマス

○三宅秀君 唯今ノ御説明デ能ク分リマシタ、本員ハ此案ヲ賛成致シマスル者デ、決シテ反對ハ致サヌ者デゴザイマスルガ、尙ホ政府委員ニ少シク確メテ置キタイト存ズルコトガアリマス、此結核豫防法ガ行レマシタトキニハ既ニモウ本年ノ七月カラシテ外國カラ來ルモノ、中ニ危險ナル牛ハナイヤウニナリマスカラ、誠ニ結構ナコトデゴザイマスガ、併シ目下乳搾リナドヲ業トシテ居ル者ナドヲ見マスルト、兎角其乳ヲ取リマスノニ適當ナ葛糧モ與ヘマセヌデ無暗ニ乳ノ澤山出ルヤウニ、無暗ニ乳ヲ搾ルト云フヤウナ傾ガアリマス、又牛舎ハ汚ナクシテ居リマス、牛ノ運動スル運動場モナイヤウナ所ヘ牛ヲ容レテ置イテ、サウシテ葛糧モ十分ニ與ヘナイデ置イテ、無暗ニ牛ノ乳ヲ搾ルト云フヤウナコトガアリマシテハ、假令此法律ガ行レマシテモ矢張弱イ牛バカリニナッテ仕舞ッテ、結核病ガ這入ッテ來ルコトハ此法律デ防ゲルカ知レマセヌガ、コチラニ渡リマシタ牛ガ忽チ結核ニナルト云フ虞ガアリハシナイカト思ヒマスカラ、其邊ノコトハ法律デ無クトモ他ノ行政命令カ何カデ十分ニ牛ニ食ハセ物ナドヲ與ヘテ乳ヲ搾ルヤウニ何カ別ニ取締ヲ付ケル良イ法デモアリマスコトカ、既ニ此前ノ馬匹ノ去勢ノトキニモ論ノアリマシタ通ニ馬匹ノ改良ノ目的ヲ以テ去勢スルト言ハレマシタケレドモ折角順良ニナリマシタ所ノ馬匹ヲ無暗ニ虐使虐待致シマシテ、サウシテ良クナッタ所ノ馬ノ壽命ヲ短カウスルト云フヤウナコトガアッテハ馬匹改良ノ御趣意ニモ背クト存ジマシタ、本員ノ考ヘマス所デハ牛モ之ト同ジコトデ、乳牛ニマヅイモノヲ食ハセテ置イテ無暗ニ一方デ結核ヲ豫防シテモ、又結核ヲ促スヤウナコトガ自由ニ行ハレテ居リマシテハ頗ル此法律ノ效力ヲ薄カラシメルヤウナコトト思ヒマスカラ、馬ノ方ニ向ヒマシテハ同ジク馬ニ適當スル葛糧ヲ與ヘ、サウシテ過勞サセルト云フコトヲ除キ、牛ノ方ニハ乳牛ニハ相當ノ牛舎並ニ運動場ヲ與ヘナケレバナラスト云フ御取締ガ付クコトデアリマセウカ、サウナラナカッタナラバ去勢法モ此法律モ餘リ役ニ立たヌモノニナッテ仕舞ハウト思ヒマス、其點ヲ一應伺ッテ置キタイノデアリマス

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今ノ御質問デゴザイマシテ、如何ニモ平常ノ

食事ノ量ト乳ヲ搾リマス所ノ程度ハ十分ニ取締リマセヌケレバ病源ヲ絶ツコトハ能ヒマセヌト云フコトハ御説ノ通デアリマス、折角其事ニ附キマシテハ今日既ニ多少ノ注意ハ致シテ居リマス、各府縣ニ向ヒマシテモ結核牛ノ豫防ヲ十分ニシナケレバナラス、就イテハ結核牛ノ有無ヲ檢シ其輕重ヲ知ルガタメニハ「ツベルクリン」ヲ用キルニ附キマシテ斯様ナ手續ニシテ用キルガ宜シイ、就イテハ「ツベルクリン」ノ必要ノ場合ニハ何時タリトモ農商務省ノ牛疫試驗所ノ方カラ原料ヲ送ッテヤル、且ツ一方ニ於テ病氣ヲ檢スルト共ニ飼養法ニ於テモ注意ヲ要スルカラト云フコトハ、マダ規則トシテハ出シテ居リマセヌガ、當業者ニ向ッテ注意ヲ促シツ、ゴザイマス、尙ホ將來ニ於キマシテハ或ハ規則或ハ諭達等ヲ以チマシテ十分注意致シマス積デアリマス

○田中芳男君 本員ハ第一讀會ノトキ缺席致シマシタ故ニ委シク存ジマセヌ故ニ、チヨット政府委員ニ質問致シマスガ、唯今此法案ノ第二條ニ在リマス「ツベルクリン」ハ一向私等ニハドンナモノカ分リマセヌ、定メテ是ハ藥ノヤウナモノダト思ヒマスガ、其藥ト云フモノハドンナモノダカ之ヲ用キルノハドンナモノダカ伺ッテ置キマセバ一向本案ニ附キマシテ了解致シ兼チマスル、私ノヤウナ愚昧ナル者ハ滿場諸君ノ中ニハアルマイト思ヒマスガ、チヨット其邊ヲ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今第二條ノ注射液ノコトニ附イテ御質問デゴザイマシタガ、是ハ一ノ液デアリマシテ御承知モゴザイマスデゴザイマセウガ、此結核ニ罹ッテ居リマス所ノ「バチルス」ヲ取りマシテ一ノ獸類ニ注射致シマシテ漸時其「バチルス」ニ打勝ツヤウニナリマシタ血液ヲ元ト致シマシテ液ヲ作りマス、其液ヲ牛ニ注射致シマシテ熱度ノ反應ノ度合ニ依リマシテ結核病ノ輕重有無ヲ知リマス、サウ云フ是ハ一種ノ液デアリマス、ソレヲ注射致スノデアリマス、尙ホ委シイコトヲ此處デ申上ゲルノモ時間ヲ費スト思ヒマス、各地方ニ向ヒマシテハ農商務省ノ獸疫調査所ニ於キマシテ液ノ注射ノ方法、平生ノ熱度ノ平均、熱度ノ昇降致シマスル度合、注射ヲ致シマス所ノ手續及其際ノ消毒法、注射致シマシタ後反應ヲ致シマスル間ノ時間、其他ノコトニ附キマシテ委シク印刷致シマシテ各府縣ヘモ配付シテ居リマス次第デアリマス、之ヲ述ベマスノハ厭ヒマセヌガ甚ダ煩ハシクシテ時ヲ費シマスカラ印刷シタモノガゴザイマスルデ、後刻御手許ヘ差出スヤウニ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ニ讀會ニ移スベシト決シテ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ニ移スベシト決シマス

○子爵内藤政共君 直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

「贊成」ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ二讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ第一條、是ハ委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第二條、是亦委員會ノ修正デ御異議ハアリセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第三條、第四條

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ第五條

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ委員ノ修正ニ決シマス、次ハ第六條ヨリ第十四條マデ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、第十五條

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ十六條ヨリ終マデ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

○南郷茂光君 直チニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……

「贊成」ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第三讀會ニ移ッテ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ第三讀會ニ移リマス……本案御異議ガナ

ケレバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○村田保君 本員ハ此際緊急動議ヲ起シタイ、司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案、是ハ先日本院ニ於キマシテ議了ニナリマシタ明治二十九年法律第四號ハ二月十三日マデデ效力ヲ失フノデゴザイマス、是ハ本院ニ於キマシテハ先月四日ニ議了シテ衆議院ニ送付ニナリマシタ、衆議院カラハ二月二十六日ニ修正ヲシテ回ッテ來マシタ、其時分ハ既ニ效力ヲ失ッテ居ル法律デアリマスノデ、政府ハ一旦撤回ヲシテ更ニ本案ヲ出サレマシタ法律デ、實ニ司法官實地修習ノタメニハ極ク必要ナ法律デアリマスカラ、此際ドウカ議事日程ヲ變更セラレテ直ニ此會ニ此議ヲ付セラレンコトヲ希望シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノ動議ニ御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 德川 達孝

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔子爵本莊壽巨君演壇ニ登ル〕

○子爵本莊壽巨君 此法案ニ附キマシテハ委員長ノ德川達孝伯ガ唯今他ノ委員會ニ參ラレテ居リマスカラ、副委員長ノ私カラ委員會ノ結果及其經過ヲ御報告致シマス、此法律案ニ附キマシテハ簡單ナ法律案デ既ニ諸君モ御承知ノ通、先刻當院ニ於キマシテ御可決ニナリマシテ、衆議院ニ回送ニナリマシタ、衆議院ニ於キマシテ唯修習期間中ノ年限ヲ五箇年ダケノ所ヲ先ヅ三箇年間此法ニ依ッテシテ行カウト云フコトニ改正ニナリマシタ、當院ニ回付ニナリマシタ所ガ此期間中ニ此法律ノ效力ハ消滅シマシタカラ、更ニ提出ニナッタ案デアリマスカラ、諸君モ御承知ノコト、思ヒマスカラ、別段ニ此場合ニ於テ説明ヲ致シマセスカラ、此法案ハ極ク緊急ナ事柄デモゴザイマスカラ、速ニ

御賛成ヲ以テ可決アランコトヲ請求致シマス

○伯爵大原重朝君 此案ハ既ニ前會議決ニナッタノガ效ガナイト云フコトデゴザイマス、讀會省略ノ動議ヲ提出致シマス

〔讀會省略ニ贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ出マシテ段々贊成ガゴザイマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○伯爵坊城俊章君 私モ緊急動議ヲ提出シタウゴザイマス、ソレハ巡査看守退隱料及遺族扶助料デゴザイマス、是ハ段々至急ヲ要シマスル次第デゴザイマスルカラ、此事ニ就キマシテ日程ヲ變換セラレマシテ議シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 坊城伯爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 巡査看守退隱料及遺族扶助料法案、政府提出、第一讀會ノ續

巡査看守退隱料及遺族扶助料法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長

伯爵 坊城 俊章

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔伯爵坊城俊章君演壇ニ登ル〕

○伯爵坊城俊章君 諸君、此巡査看守退隱料及遺族扶助料法案デゴザイマス、此委員會ノ經過ヲ報告致シマス、此法案ニ就キマシテハ委員會ニ於テ段々調査致シマシタコトデゴザイマス、別段是ト申ス質問モゴザイマセナンダ、段々調査ノ末遂ニ衆議院修正ノ通ニ可決ヲ致シマシテゴザイマス、此衆議院ノ修正ハ果シテ政府ガ同意スルヤ否ヤト云フコトモ確メマシテゴザイマスガ、政府ニ於テ何モ差支ヘスカラ同意ヲ表シタト云フコトデゴザイマス、段々委員會ニ於キマシテモ、此法案ヲ取調ベマシタガ、如何ニモ衆議院修正通是ダケノ

モノハ加入致サチバ再ビ又後カラ是ダケノモノヲ出サチバナラスト云フヤウ
ナ次第デゴザイマス、是ハ適當ノ修正ト委員會ニ於キマシテハ認メマシテ此
通可決致シマシタ、尙ホ右法案ニ附キマシテ御質問ガゴザイマスレバドウカ
政府委員ノ方ヘ御質問ヲ願ヒマス、此扶助料ノコトハ随分入組ンデ居リマス、
サリナガラ此今度ノ法案ハ餘程適當ナ法案ト委員デハ認メマシタコトデゴザ
イマス、右様ナ委員會ノ經過デゴザイマス、此段報告ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ヲ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ二讀會ニ移シマス

○伯爵大原重朝君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ……

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ニ移ッテ御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一條ヨリ第二十八條ニ至ルマデ即チ本案全部……

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○伯爵大原重朝君 直ニ三讀會ヲ……

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ三讀會ヲ開クニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ三讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案
ニ決シマス

○伯爵吉井幸藏君 日程ノ第七デゴザイマスガ、此法案ニ就キマシテハ委員
ニ於キマシテモ尙ホ深思熟考ヲ致シタイト云フ考デゴザイマスカラ、今日ノ
日程カラ撤回サレンコトヲ希望致シマス

○伯爵清棲家教君 唯今吉井伯爵ノ申サレマシタノハ日程ノ第七即チ衆議院
議員選舉法別表中改正法律案デアリマスガ、今委員長カラ述べラレマシタノ
ハ尙ホ熟考スルコトガアルカラ本日ノ議事ヲ見合シテ貫ヒタイト云フ請求デ
アッタラウト思ヒマスルガ、如何デアリマスルカ、一應確メテ置キタウゴザイ
マス

○伯爵吉井幸藏君 其通デアリマス

○伯爵清棲家教君 然ラバ贊成致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ委員長ノ今述べマシタ通ニ致シマス

○伯爵松平康莊君 此際日程ヲ變更サレマシテ明治三十三年勅令第二百七十
七號承諾ヲ求ムルノ件、是ヲ議セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 松平侯爵ノ動議ニ御異議ハアリマセスカ

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 松平侯爵ノ動議ニ御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ此議事ニ移リマス、明治三十三年勅令第
二百七十七號承諾ヲ求ムルノ件、會議、特別委員長報告

明治三十三年勅令第二百七十七號承諾ヲ求ムルノ件

右承諾スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

右特別委員長

侯爵 松平 康莊

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔侯爵松平康莊君演壇ニ登ル〕

○侯爵松平康莊君 此委員會ハ一昨日正副委員長ヲ選舉致シマシテ今朝委員
會ヲ開キマシタンデアリマス、此案ハ理由書ニモゴザイマスヤウナ次第デア
リマス、承諾ヲ致シテ差支ナイコト議決ヲ致シマシタ、此段ヲ御報告ニ及
ビマス、ドウカ是モ讀會省略デ速ニ通過アラントラ希望致シマス

○子爵錦織教久君 讀會省略ノ動議ニ贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今委員長モ申サレマシタガ、是ハ讀會ヲ經ルベ
キモノデナイノデアリマス

○男爵尾崎三良君 今ノハ何デゴザリマシタカ分リマセスカ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 今ノハ明治三十三年勅令第二百七十七號ノ清國事
件ニ關スル經費支辨ノタメ政府ハ軍艦水雷艇補充基金其外使用ノ勅令、ソレ
ノ事後承諾デアリマス

○男爵尾崎三良君 宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ其通ニ致シマス、郵便貯金利子割増ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

郵便貯金利子割増ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十四年三月二十日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

郵便貯金獎勵ノ爲政府ハ郵便貯金利殖金ノ内ヨリ抽籤ノ方法ニ依リ郵便貯金預ケ人ニ獎勵金ヲ付與スルコトヲ得
前項抽籤ノ方法、獎勵金ヲ付與スヘキ郵便貯金ノ金額及獎勵金ノ等差等ニ關スル規定ハ遞信大臣之ヲ定ム

〔政府委員田健治郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田健治郎君) 唯今議題ニ付セラレマシタ郵便貯金獎勵ノ議案デゴザイマス、是ハ衆議院ノ案デゴザイマスルガ、政府ハ同意ヲ致シテ居リマス、全體政府ハ斯様ナ案ヲ提出シマスル心得デ、ソレハ取調ヲ致シタノデゴザイマス、然ルニ丁度衆議院ノ方カラ此案ガ出マシタニ附イテ同意シマシタ次第デアリマスルガ、御承知ノ通今日ノ經濟事情ニ於キマシテ勤儉貯蓄ノ獎勵ヲシマシテ成ルタケ浪費ノ弊ヲ省キマスルコト及下層社會ニ分散シテ居ル資金ヲ吸收スルコトハ頗ル急務ト存ジマス、故ニ是ハドウカ速ニ御賛成下サイマシテ通過シマスルヤウニ希望致シマス

○男爵船越衛君 唯今ノ主意ハ分ツタガ、是ハ簡單ナモノデハゴザイマスガ其影響スルコトハ深イダラウト思ヒマス、貯蓄ヲ獎勵メルニハ方便法ノヤウニアリマスガ、一方ニハ富籤ノヤウニナリ投機心ヲ起ス恐ガアリハシナイカ、抑、此貯蓄ノ性質タルヤ決シテ投機心ヲ起サセルヤウナコトガアツテハナラス、ソレ故如何デゴザイマセウカ、極貯蓄ヲ獎勵スルト云フコトハ宜イ、本員ガ最モ望ム所ダ、最モ望ム所ダ此方法ガ行レタナラバ或ハ意外ナ惡影響ヲ生ジハセヌカ、又聞ク所デハ歐羅巴各國ニモ斯ウ云フ貯蓄法ニ富籤ノ如キ方法ガ行レテ居ル所ハナイト云フコトダ、其邊ハ無論御調ニナツテ居ルト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ、一應御見込ヲ伺ヒマス

○政府委員(田健治郎君) 唯今船越男爵ノ御尋デゴザイマスルガ、歐羅巴ニ於テ斯ノ如キコトヲシテ居ルヤウナ例ガアルカト云フニ附キマシテハ、ドウモ之ニ似寄ツタ例ハゴザイマセヌ、勿論政府ハ自身デモ提出シヤウト云フ考デ

取調ベテ居ッタノデゴザイマスルカラ、ソレ等ノ影響ナドモ十分ニ取調ベテ積デゴザイマスガ、是ハ詰リヤリ方ニ關スルコトデアラウト存ジマス、勿論此獎勵金ヲ附スルト云フコトハ幾ラカ僥倖ヲ計ルト云フヤウナ分子ガナイトハ申セマセヌガ、併ナガラ今日既ニ勸業債券ノ如キハ矢張抽籤デ獎勵割増ヲスルト云フコトガ出來テ居リマスルカラ、ソレ等ノ例カラ見マスレバ強チ例ノナイト云フモノデモナイノデゴザイマス、ソレデ唯此ヤリ方ハ餘リ大キナ金額ヲ抽籤ニ依ッテ得ルト云フコトニナリマススト云フト、或ハ多少ノ影響ガアルト云フコトモアリマセウカ、其邊ニ附イテハ政府ハ十分ニ慎重ナ取調ヲシマシテ、餘リ其投機ミエタコトニナラヌヤウニスル考デゴザイマス、其邊モソレノ方法ハ取調ベテ先ヅ是ナラバト思フモノモ見込ハ附ケテアリマスガ、其方法ヲ今コ、デ申上ゲマスルト餘リ繁雜ニ涉ラウト思ヒマスカラ、是ハ何レ委員會ヲ開カレマセウカラ委員會ニ於テ詳細説明ヲ致ス考デゴザイマス

○男爵船越衛君 アナタノ主意ハ分ツタガ、今ノ勸業銀行ノアレノ方トハ貯蓄ノコトハ違フト思フ、アレニアルカラ是モ同様ト云フ御答ハ違フト思ヒマス、ソレヲ云フト論ニナリマスカラ申シマセヌ

○政府委員(田健治郎君) 私ハ全く同ジトハ申上ゲマセヌガ、詰リ籤引デ以テ幾ラカ獎勵金ミエタ即チ割増ヲスルノ一例トシテ申上ゲタノデゴザイマス
○村田保君 本員モ少シ御尋シタイガ、斯ウ云フ獎勵ヲ致シマセヌデハ今日段々貯蓄ト云フコトヲ一般ニシナイヤウナ傾ニナツテ居リマセウカ、如何デゴザイマセウカ、實際貯蓄ト云フモノハ斯ンナコトヲシナイデモ段々進デ行クコトニナリマスカ、斯ウ云フコトヲシナイト貯蓄シナイノデゴザイマスカ、其邊ヲ御分リニナツテ居リマスレバドウカ

○政府委員(田健治郎君) 唯今村田サンノ御尋デゴザイマスガ、貯蓄ガ衰ヘルト云フ譯デハナカラウト思ヒマス、成ル程郵便貯金バカリカラ云ヒマスレバ確ニ減ツテ居リマス、一時ハ二三年前ハ二千八百萬圓以上ノ貯蓄金ガアツタノデゴザイマス、ソレガ段々減リマシテ今デハ二千四百萬圓ノモノニナツテ居リマスカラ、現ニ四百萬圓バカリ郵便貯蓄ニ附イテハ減ジテ居リマス、是バカリカラ申セバ大ニ貯蓄心ガ減ッタヤウニ見エマス、併ナガラ是ハ裏面ニソレヲ郵便貯蓄ヲ幾ラカ減ラシメル理由ガアルノデアリマシテ、即チ何デアルカト云フト即チ私立銀行ニ段々貯蓄銀行ト云フヤウナモノガ民間ニ殖エマシタタメニ其方ニ餘程移ッタラウト云フコトハ統計ノ上デ見得ラレルノデアリマスガ、國民ノ貯蓄心ガ減ジツ、アルト云フ傾ガアルトハ申セマスマイト思ヒ

マス、併ナガラ今日ノ有様ヲ見マスルト云フト、民間ノ經濟ノ逼迫即金融ノ閉塞ト云フヤウナ聲ハ頗ルヒドイニ拘ラズ下層社會ニ參リマシタトキニハ頗ル融通ガ良イヤウニ見エルノデ、ソレガタメニ購買力ハ一向減ジマセス、隨分下層社會ノ生活ノ程度ナドハズン、進デ參リマス、是ハドナタモ御承知ノコトデゴザイマス、隨テ購買力ハ減ジマセヌ故ニ輸入超過ト云フモノハ今日仍ホ止マズシテ、ドウシテモ輸出ノ平均ガ取レナイト云フコトニナツテ居リマス、ソレデアリマスカラ詰リ下層社會ニ此資金ガ分散シテ、而シテ此購買力ヲ増長サセルト云フコトハ國家經濟ニ於テ甚ダ憂フベキコトデアリマスカラ、是非トモ此下層社會ニ分散シテ居ル所ノ資金ヲ吸收シテ而シテ是ガ立派ニ金融界ノ一ノ融通ノ效ヲ成スヤウニスルニハ、成ルベク貯蓄ト云フモノヲ獎勵シナケレバナラヌノデゴザイマス、此法ヲ施スノハ固ヨリ郵便貯蓄金デアリマスカラ無制限ニ預ルノデハアリマセヌ、制限モゴザイマスルデ決シテ大キナ資本ガ是ニ這入ッテ來ルト云フコトハナイノデアリマシテ、即チ分散シテ居ル所ノ小資本ヲ吸收スルノガ專ラ目的デゴザイマス

○村田保君 尙ホ一ツ伺ヒマス、成ル程今ノ御説明デ見マスルト云フト、段段金ガ減ッテ來タ、其金ガ減ッタモノハ一般ノ貯蓄銀行ヘ吸收スルカラト云フコトデアリマスガ、サウシテ見レバ今度富籤ノヤウナコトヲ政府ガシテ政府ノ方ヘ一般ノ資本ヲ吸收シテ仕舞フト云フ手段ト思ハレマスガ、サウシタトキニハ貯蓄銀行ニ影響ヲ及シテ來ルコトハアリマスマイカ、若シモ貯蓄銀行ガ斯ウ云フ風ナ富ト云フヤウナモノヲシタイト云フ願ヲ出シタトキニハ、政府デハソレヲ許サレマスカ、許サレマセヌカ、ソレヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(田健治郎君) 此法ヲ施行シタ以上ハ民間ノ貯蓄銀行ノ資本ガ此處ヘ移ッテ仕舞ヒハセヌカト云フ御疑ハ、唯今船越男爵ノ御尋ニ就イテ御答ヲシタノト同ジ意味デアリマシテ、是ハ即チヤリ方ニ依リマシテ獎勵金ノ附シ方ガ非常ニ餘計ナモノヲ附スルト云フコトニナリマス、或ハサウ云フ傾ガ生ズルカモ知レマセヌガ、是ハサウ云フ積デハナイノデアリマシテ、詰リ郵便貯金ニ預ケルモノ、中一年以上モズウト續イテ預ケ切リノモノデナケレバ獎勵金ヲ附セナイ積デアリマス、サウスルト大キナ金ヲ其獎勵金ヲ取ルト云フ目的トシテ一年モズット預込ミマスルト云フコトハ容易ニ出來ヌコトデアリマスルガ故ニ、全ク餘ッタク金ヲ儉約シタモノヲ持ッテ來ルコトニナリマスカラ、サウ資本ガ動イテ來ルヤウナコトハナイノデアリマス、而シテ此貯蓄銀行ニ預ケテ居ル金ト雖モ今申上ゲマスルヤウニ餘計ノ獎勵金ヲ附スル積デ

ハアリマセヌガ故ニ、利息ノ方カラ申マシスルト郵便貯金ノ方ガズット安ウゴザイマスカラ、利息ヲ目的トシテヤッテ居ル以上ハ貯蓄銀行ノモノガ之ガタメニ大イニ移ッテ仕舞フト云フヤウナ虞ハナカラウカト思ハレマスガ、マルデ無イト云フコトハ申上ゲ兼チマス

○村田保君 ソレカラ貯蓄銀行デ斯ウ云フ事ヲシタイト言ッタトキハ……

○政府委員(田健治郎君) 其事ハ銀行條例等ニソレ、取締ガゴザイマスルカラ、サウ云フコトハ自由ニ出來ナイダラウト思ヒマス

○男爵船越衛君 貯蓄銀行又其他ノ銀行條例ニ附イテハ大藏省ニ於テ改正モアルカニ聞イテ居リマスガ、銀行條例ヲ大藏省デ改正スルトキニ、之ト關聯スルコトガ隨分アリハセヌカ、ガ此郵便貯蓄ハ即チ遞信省ノ、即チ貯金等ニ就テハ關聯スルカラ無論大藏省ヘ御照會ニナッタト思ヒマス、大藏省ハ無論同意デアルノデゴザイマスカ、其邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員(田健治郎君) 大藏省ヘハ協議中デゴザイマシテ、マダ本當ニ話ガ纏マラヌ先デゴザイマス

○男爵船越衛君 一體斯ノ如キコトハ人民ノ貯蓄ヲ勸ムル、即チ此國ノタメニモナルコトデアアル、隨分經濟上ニ大關係ガアル以上ハ政府ハ方針ノ一ニシナクチャナラス、大藏省モ遞信省モ斯ノ如キコトニナレバ方針ガ一ニナラニヤナラス、然レバ大藏省ヘモ關聯スルコトデ照會中デアルト云フモノヲ、大藏省ガ同意スルカセヌカ知レナイノニ、サウ云フモノヲ御出シニナッテ……御出シニナッタノデヤナイ同意シテ矢張通過ヲ御望ニナルノハ少シ分ラヌヤウデゴザイマスガ、ドウデス

○政府委員(田健治郎君) 唯今大藏省ナドノ話ガ立派ニ纏マッテ居レバ直グニ政府ハ出スノデアリマスガ、ソレ等ノコトヲ協議中ニ衆議院カラ出マシタ故ニ、マダ其話ハ話中デアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスカラ、一向差支ハナイ積デアアルノデス

○男爵船越衛君 マア其位ニシテ置キマセウ

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員選舉ニ移リマス、此特別委員ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 時刻ニナリマシタカラ休憩ヲ致シマス
午前十一時五十五分休憩

午後一時九分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十二日

水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案兩院協議委員會議長

公爵 二條 基弘

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案兩院協議會成案

附則中「水害」ノ下ニ「蟲害、風害、又ハ旱害」ノ八字ヲ加ヘ其ノ他貴族院議

決案ノ通トス

事業公債及鐵道公債特別會計法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵細川 護成君 副委員長 子爵鍋島 直彬君

內務省所管歲出臨時部土木事業費中信濃川河口修築費繰越ニ關スル法律

案特別委員會

委員長 男爵松平 正直君 副委員長 子爵堤 功 長君

巡查看守退隱料及遺族扶助料法案特別委員會

委員長 伯爵坊城 俊章君 副委員長 子爵本莊 壽 巨君

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引讀イテ會議ヲ開キマス、チヨット今

朝御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告致シマス

〔太田書記官朗讀〕

郵便貯金利子割増ニ關スル法律案特別委員

子爵京極 高典君 子爵新莊 直 陳君 男爵松平 正直君

柴 原 和君 男爵船 越 衛君 男爵鈴木 大亮君

富田 鐵之助君 武井 守 正君 三木 與吉郎君

○議長(公爵近衛篤磨君) 狩獵法改正法律案、衆議院提出、第一讀會

狩獵法改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十四年三月二十日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

狩獵法

第一章 獵具、獵法

第一條 本法ニ於テ狩獵ト稱スルハ銃器、網、繃繩又ハ撲ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルヲ謂フ

前項各獵具ノ種類及制限ハ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二條 爆發物、劇藥、毒藥、据銃又ハ危險ナル器若ハ陷阱ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス

前項ノ外ノ獵具、獵法ニシテ第一條ニ掲ケサルモノニ就テハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ便宜取締規則ヲ設クルコトヲ得

第三條 日出前、日沒後又ハ市街人家稠密ノ場所、衆人群集ノ場所ニ於テ又ハ銃丸ノ達スヘキ虞アル建物、船舶若ハ汽車ニ向テ銃獵ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 左ニ掲クル場所ニ於テハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス

一 御獵場

二 禁獵區

三 公道

四 公園

五 社寺境内

六 墓地

第五條 欄、柵、圍障若ハ作物植付アル他人ノ所有地ニ於テハ所有者又ハ占有者、他人ノ共同狩獵地ニ於テハ免許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 地方長官ハ鳥獸ノ蕃殖保護ノ爲又ハ土地所有者ノ出願其ノ他ノ理由ニ因リ必要ト認ムル場合ニ於テハ十箇年以内ノ期間ヲ以テ禁獵區ヲ設クルコトヲ得

第二章 狩獵免許

第七條 狩獵ハ地方長官ニ願出テ免狀ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ欄、柵又ハ圍障アル宅地内ニ於テ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ハ此ノ限リニ在ラス

第二十一條ノ處罰ヲ受ケタル者ハ滿一箇年ヲ經過セサレハ再ヒ免狀ヲ受クルコトヲ得ス

第八條 從來地方ノ慣行ニ依リ一定ノ區域内ニ於テ共同狩獵ヲ爲ス者ハ農

セサル地ニ於テハ町村長ニ該當スヘキ者之ヲ行フ

〔政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今議題ニナツテ居リマス狩獵法改正案ニ附キマシテ一言致シテ置キマス、本案ハ衆議院ヨリ改正案ヲ提出致シマシタ、此事柄ハ政府ニ於キマシテモ近年改正ノ必要ヲ認メテ居リマス、既ニ調査モ終ッテ居リマスコトデゴザイマスルデ、本回衆議院ヨリ出マシタニ附キマシテハ委員會ニ於キマシテ政府ノ意思ノアル所モ段々述ベマシタ、其邊ヲ衆議院ニ於テモ容レマシテ、修正ノ結果コナラヘ送付ニナリマシタ、鳥獸蕃殖ノ上ニ於キマシテ、最モ必要ト認メマス、尙ホ現行法ノ儘デハ濫獵ノ傾向ガゴザイマスニ依ッテ之ヲ改正ヲ致シマシテ其邊ヲ十分ニ取締ルコトヲ得マシタナラバ、鳥獸保護ノ點ヨリ致シマシテモ全キヲ得ルデアラウト存ジマス

○男爵伊達宗敦君 唯今述べラレタ如ク、如何ニモ狩獵法改正案ハ衆議院ヨリ本院ヘ回ッテ來タノデアリマス、又改正ヲスル必要ガアルト云フコトモ私ナドハ認メテ居ルノデアリマス、ソレカラ政府ニ於テ考ヘラレル所ノ意思モ唯今簡短ニ御述ベニナツテ略、分リマシタガ、一ツコ、デ確メテ置キタイコトガアル、ソレハ何カト云フト、成ル程法律ヲ改正スルハ結構デアアル、鳥獸蕃殖モ出來ルカ知レナイガ、一番困難ニ感ズルノハ此狩獵法ノ厲行ト云フコトデアアル、成ル程今日ハ狩獵法ト云フモノガ立派ニアリマスケレドモ、或ル一部ハ殆ド厲行サレテ居ラヌト云フテモ差支ナイト私共ハ認メテ居ル、濫獵……濫獵ヂヤナイ、寧ロ密獵者ガ多イ、例ヘテ言ヘバ田舎ヘ行ッテ或ル村デ銃ヲ取ッテ……銃獵ノ方ヲ今御話シマスガ、銃ヲ取ッテ獵ヲスル者カ十人バカリアル、サウシテ其實免許ヲ受ケテ居ル者ハ二人シカナイ、他ノ者ハ皆ソレヲ借リテヤッテ居ルト云フ有様デアアル、ソレカラ又日没ヨリ日出マデハ銃獵ヲスルコトハナラナイト云フコトニナツテ居ルガ往々夜間ニ鳥獸ヲ獵スル者ガアルノデ、ソレハ私ナドガ獵ヲシテ田舎ヘ行ッテ現ニ日没後七時カ八時ト云フ時ニ砲聲ヲ聞クコトガ屢アル、サウ云フモノハ一向取締ガ付イテ居ラヌ、又鳥獸ノ保護ト云フコトデアリマスガ、例ヘバ雉ノ如キハ十月ノ十五日ヨリ翌年ノ三月十五日マデホカ捕獲スルコトヲ許シテナイ、是ハ銃獵デモ又ハ網其他ノ方法デ捕ルニシテモ矢張許シテナイ、所ガ是モ田舎ナドニ於テハ捕ッテ居ル、甚シキニ至ッテハ日光地方デハ土用中ニ銃獵ヲシテ居ルト云フ有様デアアル、ソレデ之ヲ改正シテ、ドノヤウナ結構ナ法律ガ出來テモ、其法律ガ實際ニ行レヌケレバ誠ニ無駄ナ法ト言ハナケレバナラヌ、今日マデハ、マア私

ノ認メテ居ル所デハ行レテ居ラヌ、是ハ當局者ニ於テモ同様認メラレテ居ラウト思フ、私共ハ確ニ認メテ居ルノデアリマス、將來ハ十分是等ノ事ニ付イテ取締ガ必ズ出來得ルト云フコトヲ此場ニ於テ明言ガ出來マセウカ、ソコヲ一ツ確メテ置カヌト、幾ラ法律ヲ改正シテモ誠ニ無駄ナ話デアラウト思ヒマスカラ、ソレヲ御尋致シマス

○政府委員(和田彦次郎君) 此改正法ニ附キマシテハ、從來ノ弊ヲ成ルベク矯メマス積デ、御承知ノ通從者ト申シマシタ數名ヲ引連レテ、免許ヲ得テ鑑札ヲ持ッテ居ル者ガ一名ニシテ、之ニ附隨シタ者ガ四五名モ附イテ行ッテ或ハ換銃ト名稱ヲ附ケマシテ鐵砲ヲ二三挺モ持ッテ行ク人ガ往々アル、サウ云フ事カラシテ自然無免許ノ儘打ツト云フヤウナコトガ、或ル場合ニハアルノデアリマスルカラ、此邊ノ事ヲ取締リマスタメニ、此改正案ハ從者ヲ連レテ行クコトヲ許スナド、云フヤウナ簡條ハ皆廢シマシタ、旁、現在ノ法律ヨリハ餘程嚴重ニ法律ノ上デモナツテ居リマス、尙ホ取締ヲ致シマスル上ニ於キマシテハ十分ナル注意ヲ今後ハ致シマス積デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 特別委員ノ選舉ニ移リマス、本案ノ特別委員モ議長指名デ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 葉煙草專賣法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

葉煙草專賣法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十四年三月二十日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

葉煙草專賣法中左ノ通改正ス

第五條中 「葉煙草耕作地ノ區域」ノ下ニ「耕作段別及葉煙草ノ種類」ヲ加フ第六條 葉煙草ヲ耕作セムトスル者ハ毎年煙草苗床ノ位置及坪數、煙草耕作地ノ位置及段別、煙草ノ種類、本數、乾燥場及貯藏場ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ若之ヲ變更シ又ハ耕作ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ第六條ノ次ニ左ノ四條ヲ加フ

第六條ノ二 葉煙草耕作者ハ政府ノ定ムル方法及手續ニ依リ耕作ヲ完成スルノ義務ヲ負フ

第六條ノ三 政府ハ收穫前ニ於テ葉煙草ノ收穫量目又ハ葉數ヲ査定ス

前項査定ノ場合ニ於テハ煙草耕作者ハ之ニ立會フヘシ若立會ハサルトキハ其ノ査定ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第六條ノ四 煙草耕作者前條ノ量目又ハ葉數ノ査定ニ不服ナルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ申立アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

異議申立人ノ主張ニ係ル葉煙草ノ量目又ハ葉數ト前項決定額トノ差カ前條ノ査定額ト前項決定額トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ其ノ申立人ノ負擔トス

第六條ノ五 葉煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ査定若ハ決定シタル量目又ハ葉數以上ノ葉煙草ヲ納付セサルトキハ政府ハ其ノ不足額ニ對シ其ノ年ニ於ケル近傍類似煙草耕作地ノ葉煙草生産額及之ニ對スル賠償價格ニ相當スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得

第十條 葉煙草耕作者ハ政府ノ指定シタル期日ニ其ノ葉煙草ヲ政府ニ納付スヘシ

第十一條ノ二 葉煙草ヲ耕作スル者ハ其ノ耕作シタル葉煙草ヲ耕作地、乾燥場、貯藏場又ハ收納官署ノ外他ニ運送スルコトヲ得ス

政府ハ必要ト認ムルトキハ葉煙草運送ノ通路及時間ヲ指定スルコトヲ得

第十一條ノ三 葉煙草ハ相當ノ包裝ヲ爲シ且政府ノ指定スル方法ニ依リ一定ノ目標ヲ附スルニ非サレハ之ヲ運送スルコトヲ得ス

第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
政府ハ特ニ定メタル價格ヲ以テ葉煙草輸出者ニ輸出葉煙草ヲ賣渡スコトヲ得

第十九條ノ五第一號中「營業場一箇所毎ニ」ヲ「製造場一箇所毎ニ」ニ改ム

第十九條ノ五ニ左ノ一項ヲ加フ
政府ハ取締上必要ト認ムルトキハ煙草製造又ハ葉煙草賣買ノ營業ヲ免許セサルコトヲ得

第十九條ノ八ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第十九條ノ九 煙草製造ヲ業トスル者ハ他人ノ煙草ヲ製造スルコトヲ得

煙草製造ヲ業トスル者ハ其ノ製造場外ニ於テ煙草製造ヲ爲スコトヲ得

ス但シ紙卷煙草ノ賃卷ヲ爲サシムルハ此ノ限ニ在ラス
第二十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

葉煙草耕作者ニ非スシテ葉煙草ヲ耕作シ若ハ煙草苗ヲ育成シタルトキ又ハ葉煙草耕作者ニシテ許可ヲ受ケサル土地ニ葉煙草ヲ耕作シ若ハ煙草苗ヲ育成シ又ハ許可ヲ受ケサル種類ノ葉煙草ヲ耕作シ又ハ許可ヲ受ケサル場所ニ葉煙草ヲ乾燥シ若ハ貯藏シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス

第二十一條ノ二中「業ト」ヲ「爲」ニ改ム

第二十二條 葉煙草耕作者他人ノ葉煙草ヲ貯藏シ又ハ葉煙草耕作者以外ノ者届出ヲ爲サス他人ノ葉煙草ヲ貯藏シタルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

權利者ノ不明ナル葉煙草ヲ運送スル者アルトキハ政府ハ其ノ葉煙草ヲ無償ニテ收納スルコトヲ得

第二十二條ノ次ニ左ノ四條ヲ加フ

第二十二條ノ二 葉煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル納付期日ニ葉煙草ヲ納付セサルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條ノ三 第十一條ノ二第一項及第十一條ノ三ニ違反シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

政府ノ指定シタル通路及時間外ニ葉煙草ヲ運送シタル者ノ罰前項ニ同シ

第二十二條ノ四 第十九條ノ九ニ違反シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造煙草及葉煙草ハ之ヲ沒收ス

第二十二條ノ五 葉煙草耕作者、煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ政府ハ耕作又ハ營業ノ許可ヲ取消シ又ハ三箇年以内ニ於テ政府ノ指定シタル期間之ヲ許可セサルコトヲ得

第二十八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十八條ノ二 煙草製造ヲ業トスル者ハ組合ヲ設クヘシ組合ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第三十五條 本法施行前既ニ届出ヲ爲シ現ニ葉煙草ヲ耕作スル者ハ本法

ニ依リ葉煙草耕作ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス
第三十六條 煙草製造ヲ業トスル者ニシテ數箇ノ製造場ヲ有スルトキハ
一箇所以外ノ製造場ニ對シテハ本法施行ノ日ヨリ一箇月内ニ本法ニ定
ムル免許料ヲ納ムルコトヲ要ス

〔政府委員男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今ノ葉煙草專賣法ニ關スル法律案ニ附イ
テチヨット一言申上ゲタウゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通ニ衆議院提出ノ案
デ、政府案デハアリマセヌデアリマスケレドモ、政府モ略スウ云フヤウナ
事ヲシャウト思ウテ居ル矢先ニ衆議院カラ斯ウ云フ案ガ出マシテ、全ク政府
ノ意見ト合體致シマシタカラシテ、衆議院ニ於テ大イニ贊成ヲ表シテ置キマ
シタ、ドウゾコナタデモ此會期切迫ノ際ニ誠ニ御無理ナコトヲ申上ゲルヤウ
デハゴザイマスガ、當期ニ成立ツコトヲ切リニ希望致シマスカラ、其御合ヲ以
テ、ドウゾ成ルベク御協賛ヲ願ヒタウゴザイマス

○子爵谷干城君 チヨット御尋シマスガ、此葉煙草專賣法ノ改正ハ從來葉煙草
製造者カラ種々ノ書付ヲ受取ッテ居リマス、又請願モ自分ノ手許デ取次イダコ
トモゴザイマス、之ヲ視テ見マスルト至極尤ナ請願モ見受ケタウデアリマ
シタ、ソレヲノ所ハ政府ノ方ニモ幾分御斟酌デサウシテ衆議院案ニ御贊成ニ
ナッタコトカト考ヘマスガ、ソコ等ハドウデゴザイマスガ、一應承ッテ置キタ
イト思フ、是等ハ大變ニ事情ヲ聞イタコトガアリマスカラ

〔政府委員仁尾惟茂君演壇ニ登ル〕

○政府委員(仁尾惟茂君) 谷子爵ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、ソレデ此法案ハ
御承知モゴザイマスル通、十三議會ニ於キマシテ改正ヲ致シマシテ、其後之
ヲ實施致シマシタ所ガ、段々此產地ノ中ニ種々ナ弊害ヲ生ジマシテ製造業者
ハ斯ク不正業ノ製造業者ガ出來テハ正業ヲ以テ之ヲ常職トシテ此業ヲ爲スコ
トハ殆ド堪ヘナイト云フコトヲ昨年營業者大會ヲ開キマシテ、縷々政府ヘモ
陳述ヲ致シマシタ、ソレデ其事柄ハ段々施行上調査モ致シテ居リマスルガ、尤
ニ認ムル點モ少カラヌノデアリマス、ソレデ此度衆議院ヨリ提出致シマシタ
所ノ案ハ段々此營業者ガ實驗ニ依リマシテ申述ベマシタコト、又二ツニハ當
局者ニ於キマシテ實驗上已ムコトヲ得ナイト認メマシタ所ヲ斟酌致シマシテ
ゴザイマスルデ、ソレデドウモ此營業者ノ申シマスル所ハ本案ニハ十分ニ斟
酌ヲ致シテゴザイマスノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 特別委員ノ選舉ニ移リマス、此特別委員モ議長指
名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案、衆議院提
出、第一讀會

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十四年三月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨君

關稅定率法附屬輸入稅表中左ノ通改正ス
第二種五〇五ノ次ニ「五〇五ノ一コブラ」ヲ加フ
第二種五一四ノ次ニ「五一四ノ一鐵礦」ヲ加フ
第二種「五四ノ一」ヲ「五一四ノ二」ニ改ム

附則

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○田中芳男君 此案ニ附キマシテチヨット御尋致シタウゴザイマスガ、政府
委員ハ出テ居ラレマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 出テ居リマス

○田中芳男君 此案ニ附キマシテ當局者ニ伺ヒタウゴザイマスガ、此案ハ既
ニ昨年モ出マシタ案デアリマス、全ク人民ノ方ノ請求カラ起ッタモノニ違ヒ
ナイガ、此鐵礦ト云フコトハドウ云フ所デ規定シテアリマスカ、ソレヲ御尋
致シタイデゴザンスガ……

〔政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(藤田四郎君) チヨット聽エマセヌデゴザイマシタガ……

○田中芳男君 「コブラ」ハ昨年モ出マシテ輸入ノ必要ガアルト云フコトデア
リマス、此鐵礦デゴザイマス、此鐵礦ガ民間デ需要シテ居ルカラシテ或ハ鐵
礦ヲ消費シテ居ル、所ガ其輸入ヲ致シテ居リマスルモノハドウ云フコトヲシ
マスルカト云フコトヲ……

○政府委員(藤田四郎君) 鐵礦ハ民間ニ於キマシテ需要スルト云フコトハゴ
ザイマセヌ、製鐵所ニ於キマシテ作業ニ本年度カラ三十四年度カラ移リマス
ル、昨年來鐵礦ヲ支那カラ買入レテ居リマスル、三十四年度ニ十萬噸バカリノ

鐵礦ヲ買入レル積デゴザイマス、内地ノ礦山ノ開掘ニ差支ナイト認メマシテ
ゴザイマスカラ製鐵所ノ作業ニ經濟ノ相償フヤウニ致シタイト云フ考デゴザ
イマシテ、此一割ノ從價稅ヲ廢スルコトハ衆議院ニ於キマシテ同意ヲ致シマ
シタ、即チ衆議院ニ於キマシテハ製鐵所ニ於キマシテハ最モ免稅ヲ希望致ス
次第デゴザイマシテ、此提案ニ同意ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、尙ホソ
レガタメニ右ノ礦山ヲ開掘スルニハ製鐵所ニ於テハ何等ノ差支ナイヤウニス
ルシ、且ツ獎勵ヲスル積デゴザイマス

○田中源太郎君 一應政府委員ニ伺ヒマスガ、昨年モ此「コブラ」ノ案ガ出マ
シテ是同様ノ牛骨鐵骨ト云フヤウナモノモ矢張免稅ニシナケレバナラヌト
云フヤウナコトモ出マシテ、昨年ハ是等ノモノヲ棄テ、取調ベテ本年ニ大藏
省ノ方カラ議案ヲ出スト云フヤウナコトデ昨年ハ其儘ニナリマシタヤウナ譯
デゴザイマスガ、政府ニ於テハ「コブラ」同様にモノデ御調ニナッタヤウナモ
ノハアリマスルデゴザイマスカ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 唯今ノ御尋ノ牛骨其他ノモノニ附キマシテ或ハ免
稅ヲ必要トスルモノモゴザイマスガ、ソレハ今大藏省ニ於キマシテ調査中デ
ゴザイマス、依ッテ本年ノ議會ニハ提出ノ場合ニ至ラヌヤウニ心得テ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 特別委員ノ選舉ニ移リマス、本案ノ特別委員モ議
長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○子爵唐橋在正君 民法中改正法律案ニ附キマシテ委員會ヲ開キタウゴザイ
マスカラ退席シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 此間ニ緊急動議ヲ提出致シマス、一昨日ノ議事日程ノ末ニ
載ッテ居リマシテ今日ノニハ載ッテ居リマセヌガ、憲法保障ニ關スル上奏案、最
早日數モゴザンセヌコトデゴザイマスカラドウゾ日程ヲ變更セラレテ此際ニ
此案ヲ議セラレムコトヲ滿場ノ諸君ニ希望致シマス、此事ハ或ハ谷ガ又長イ
喧マシイコトヲ言フト云フノ御考ガアルカモ知レマセヌガ、決シテ左様デナ
イ、誠ニ簡短ニ實ハ申上ゲタイト思フ、文章ニ盡シテゴザイマスカラ簡短ニ
申上ゲテ置キマスカラ、ドウカ日程ノ變更ヲ希望致シマス

○子爵岡部長職君 唯今谷子爵カラ議事日程ノ變更ノ動議ガ出テ居リマス
ガ、本員ニ於キマシテハ別ニ本日議事日程ヲ變更サルノ必要ハナイト思ヒ

マス、明日ニシテモ議長ノ御考ニ於テ相當ナル所ニ御入レニナッテ然ルベキコ
ト、考ヘマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ谷君ニ賛成致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵ヨリ此際日程ヲ變更シテ憲法上ノ保障ニ關
スル上奏案ヲ議スルト云フ動議ガ出マシテ賛成ガアリマス、日程變更ニ同意
ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、東京都制案、伯爵清棲家敦君外
四名提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

東京都制案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十四年三月二十日

右特別委員長

公爵 德川 家達

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔特別委員ノ修正アル條ノミチ掲載ス但第七十四條ヨリ第八十六條
マテ各條數ニ一條ツ、又第九十三條ヨリ第百六十二條マテ各條ニ
二條ツ、繰上ノ修正アルトモ法文ニ修正ナキヲ以テ掲載セス〕

第七十一條 削除

第七十一條(原案第七十二條) 都ハ有給ノ吏員ヲ置クコトヲ得其ノ定員ハ

都會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

前項ノ都吏員ハ都長官之ヲ任免ス

第七十二條(原案第七十三條) 都ニ都收入役ヲ置キ每區ニ區收入役ヲ置ク

都收入役及區收入役ハ官吏吏員ノ中ニ就キ都長官之ヲ命ス

第七十九條(原案第八十條) 都長官ハ都吏員ヲ監督シ委員ヲ除ク外都吏員

ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得

其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

都長官ハ都吏員ノ懲戒處分ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命シ並給料ヲ支

給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間都ノ公職ニ選舉セラレ若ハ任命セ

ラルコトヲ得ス

第八十六條(原案第八十九條) 區長ハ都長官ノ指揮監督ヲ承ケ區ノ公共事

務ヲ管掌シ區ヲ代表ス

第七十六條第二項第二號乃至第七號ノ規定ハ區ノ公共事務ニ關シテハ之ヲ區長ニ準用ス但シ都費トアルハ區費都會又ハ都參事會トアルハ區會ヲ以テ之ニ該當スルモノトス

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲ニ要スル費用ハ都ノ負擔トス

第八十九條(原案第九十條) 區收入役ハ區ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌ル區收入役ハ都收入役ノ指揮監督ヲ承ケ都收入役ノ委任ニ依リ又ハ法律命令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル國及都ノ出納其ノ他會計事務ヲ掌リ又ハ都收入役ノ命令ヲ承ケ區内ニ關スル都收入役ノ事務ヲ補助執行ス

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スル爲ニ要スル費用ハ都ノ負擔トス

區收入役故障アルトキハ區長ノ命ヲ受ケタル官吏若ハ吏員其ノ職務ヲ代理ス

第九十一條 削除

第九十條(原案第九十二條) 都ノ有給吏員ハ都長官ノ命令ヲ承ケ事務ニ從事ス

第一百一條(原案第一百三條) 都ハ必要ナル場合ニ於テハ第一百一條ノ使用者ニ對シ其ノ使用ヲ止メ若ハ制限シ又ハ第九十九條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收スルコトヲ得

第一百三條(原案第一百五條) 財産又ハ營造物ノ使用方法ニ關スル都規則ニハ過料二圓以下ヲ科スルノ規定ヲ設クルコトヲ得其ノ處分及徵收ニ關シテハ第一百八條第二項ノ規定ヲ準用ス

第一百三十五條(原案第一百七條) 每區ニ區會ヲ置ク

區會議員ハ都ノ名譽職トス

區會議員ノ定員任期及選舉ニ關シテハ第十一條第二項第十二條第十四條第一項第三項乃至第八項第十五條第十六條第二項第三項第十七條第二十二條第二十四條及第二十六條ノ規定ヲ準用ス但シ區内ニ住所ヲ有セサル者ハ區會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス

第四百七十七條(原案第四百九十九條) 左ニ掲クル事件ハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 都規則ヲ設定スル事

二 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事

三 使用料手数料加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

四 基本財産ノ處分ニ關スル事

五 特別基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

六 第九十九條及第一百一條ノ處分ヲ爲ス事

七 寄附若ハ補助ヲ爲ス事

八 不動産ノ處分ニ關スル事

九 均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

十 第一百十四條ニ依リ數個人若ハ區ニ費用ヲ負擔セシムル事

十一 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

十二 特別會計ヲ設クル事

第一百五十條(原案第一百五十二條) 內務大臣ハ委員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

內務大臣ハ懲戒處分ヲ行ハムトスル前吏員ノ停職ヲ命スルコトヲ得

第八十條第三項ノ規定ハ本條ニ依リ解職セラレタル者ニモ之ヲ適用ス

第一百五十二條(原案第一百五十四條) 此ノ法律施行ノ際都會都參事會及區會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間都會及都參事會ニ關シテハ都長官區會ニ關シテハ區長之ヲ行フ

○公爵德川家達君 議事日程ノ第十七第十八モ同時ニ報告シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

千代田縣設置ニ關スル法律案

東京都千代田縣組合法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十四年三月二十日

右特別委員長

公爵 德川 家達

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔公爵德川家達君演壇ニ登ル〕

○公爵德川家達君 特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス前ニ本案中ニ印刷ノ誤ガゴザイマスコトヲ委員會ニ於テ發見致シマシタカラ、ソレヲ先ヅ御報告申シマス、十五頁ノ

六行目ノ「一級及二級」トゴザイマスノハ「一級及三級」ノ誤デゴザイマス、ソレカラ次ハ十九頁ノ八行目デゴザイマス、「先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次テ」トアル「テ」ノ字ハ「ニ」ノ誤デゴザイマス、次ハ三十七頁ノ八行目、第六十四條第二項「ト云フ」項「ノ字ハ」號「ノ字ノ誤デゴザイマス、此委員會ハ去ル十九日ノ午前ニ正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ引續キマシテ委員會ヲ開キマシタ、出席ノ政府委員ニモ政府ノ意向ヲ確メ、其時ニ政府委員ノ申サレマスニ、本案提出ニ相成リマシテカラ時日モ甚ダ淺イコトデアリ、今日ノ東京市ノ狀態ヲ見マシテ今日ノ制度ガ甚ダ完全又ハ適當デナイト云フコトハ政府ニ於テモ認メテ居ル、何カ良法ヲ制定シテ議會ニ提出シタク思ヒツ、アルガ、マダ其良法ヲ見出し能ハナイ、此事ハ如何ニモ重大ナルコトデアル故ニ此會期モ將ニ閉會ニ近カラントスル場合デゴザイマスカラ、次ノ會期マデ此法案ノ確定ハ延期シテ貰ヒタイト云フ政府委員ノ演說デゴザイマシタガ、委員諸君ノ御考ハ此問題ハ既ニ特別市制ヲ廢セラレタ後、深ク攷究シタ末、斯ノ如キ法案ヲ提出シタ次第デゴザイマスカラ、此會期中ニ是非トモ貴族院ヲ通過シテ衆議院ニ送リタイト云フ說ガ委員會ノ多數ノ說デゴザイマシタ、ソレデ逐條審議ニ移ルト云フコトニ決シマシタ、逐條審議ニ移リマシテ諸君ノ御手許ヘ上ゲテ置キマシタ通ノ修正說ガ出マシタ、ソレハ第七十一條ニ掲ゲテゴザイマスル「區長ハ區會ノ推薦ニ依リ都長官之ヲ選任シ」ト云フコトノ箇條ヲ區長ハ官選ニスベキモノデアル、其序ニ區書記ト申シマスモノモ官選ニシタ方ガ適當デアラウト云フ修正說ガ出マシタ、多數ヲ以テ其事ニ決シマシタ、其結果ト致シマシテ原案ノ七十二條、其他數箇條ノ修正ガ必要ヲ生ジマシタ、ソレカラ諸君ノ御手許ヘ上ゲテ置キマシタ修正案中ノ修正ノ百三十五條、原案ノ百三十七條、是ハ區長並ニ區書記ヲ官選ニスルト云フ修正ノ結果デハナクシテ但書ヲ加ヘマシタ、加ヘマセヌデモ此但書ノ主意ハ原案デモ此通ノ積デゴザイマシタガ、其但書ヲ加ヘマシタ方ガ一層明瞭デ宜カラウト云フ考デ入レマシタ、ソレデ都制案ノ方ノ御報告ハ是デ終リマシテ次ノ日程ニ掲ゲテゴザイマスル千代田縣設置ニ關スル法律案、此方ノ御報告ニ移リマス、此法案ヲ審查致シマスル際ニ委員ノ中デ千代田縣ト云フ縣ヲ新設スルヨリハ東京都ノ範圍ヲ擴張致シマシテ其餘ヲ神奈川埼玉千葉等ノ諸縣ヘ編入スルト云フコトハ出來ナイモノデアラウカト云フ質問ヲ出サレマシタ委員ガゴザイマス、其質問ニ政府委員ノ答ヘマスルニ或ル場所ハソレデモ一向差支ガアルマイ、併シ他ノ部分ニ於テハ甚ダ困難ヲ感ズルデアラウ、是レ實ニ容易ナラヌコトデア

ル故ニ十分ニ攷究ヲシテ見ナクテハナラヌ、ソレ故ニ此會期中ニハ確定ニ相成ラヌコトヲ希望シタノデアル、斯ウ言レマシタ所ガ委員會デハ最初ニ申上ゲマシタ通ニ此法案ハ外ニドウモ良イ之ニ優ル所ノ考モナイ故ニ本會期ニ於テ確定シタイト云フ委員會多數ノ意見デゴザイマシタ、此法ハ一字一句ノ修正ナク提出ノ原案ノ儘デ可決スベキモノト決シマシタ、次ノ東京都千代田縣組合法案、是ハ唯今委員長ノ申上ゲマシタ兩案トモ委員會ニ於テ可決セラレマシタ結果、必要ナル法案ト認メマシテ委員會デハ可決ト相成リマシタ次第デゴザイマス、此東京都制案ノ修正ニ附イテ御疑ガゴザイマスルナラバ委員中カラ御答辯ヲ申上ゲルコトニ致シマスル積デゴザイマス

○三浦安君 本員ハ此東京都制案ニ附キマシテハ主意ニ於テハ間然スル所ハアリマセヌガ、方法ニ至ツテハ是デハ未ダ盡サヌト存ジマス、今日世上……ト

モ云ヘマセヌガ、市會議員ナドノ中ニ於テ色々醜聲ガ聞エマシタリ彼是シマスカラ市ノ改正ヲシタイト云フ情ハ誰シモ同感デアラウト存ジマス、是ハ併シ事情ノ事デゴザイマスガ、大體ニ於キマシモ東京ト云フモノハ帝國ノ首都トナツテ居リマスカラ是ハ他ノ府縣ト制度ヲ別ニシテ都制ヲ立テルト云フ趣意ニ於キマシテハ固ヨリ同意デゴザイマス、嘸ゾ諸君御同意ノコトデアラウト存ジマス、併シ三十年來ノ慣習ヲ變ジマシテ之ヲ都ヲ別ニシテ縣ヲ分ツト云フ間ニ於キマシテハ種々困難ノコトガゴザイマス、嘸ゾ提出者ニハ其邊ノ御攷究モ届イテ居ルコトデ、法律モ出來タコト、ハ思ヒマスルケレドモ如何セン僅ニ此位ナ大議案ヲ十四日ノ提出デアツテ、サウシテ今日ニ至リマシテ僅ニ委員會ニ於テモ一日ノ委員會ヲ以テ決シテ出シタト云フコトデハ、諸君ニ於キマシテモ是ハ趣意ハ御同意デアツテモ、此方法ヲ攷究スルト云フ間ハ決シテアリマセヌノデゴザイマス、此ニ於テ之ヲ匆卒ニ議定スルト云フコトハ甚ダ不安心ニ存シマス、其方法中ノ重立ツタコトヲ言ウテ見マスルト何分品川町デアリマヒウガ、淀橋町デゴザイマセウガ、千住町板橋町又南葛飾ノ小松川邊ト云フヤウナ郡役所ノアル所ニナリマシテハ是ハ東京カラ市中績キニナツテ居ル位ナ所デアツテ、之ガ別ニナリマスルト云フコトハ甚ダ施政上ニ差支ヲ生ジマス、何事デモ……軒ヲ列テタ場所デ市同様ニナツテ居リマスルニ事毎ニ他縣ニ掛合ラセチバナラヌト云フコトニナリマシテハ甚ダ差支ヲ生ジマス、是等ヲ現在ノ市ノ區域ヲ以テ都ト定メテ品川町淀橋町其外ヲ別ニスルト云フコトハ實際ニ於テドウシテモ施政上出來得ヌト存ジマス、スレバ之ヲ如何セント言ヒマスレバ是ダケノモノヲ又切ツテ郡カラ割合ヲ附ケテ東京都

ノ附屬ニ致シマスルカ、或ハ矢張荏原郡、豊多摩郡、南足立、北豊島、南葛飾ノヤウナ所ハ全部ヲ東京ノ附屬トシマスルカ、此邊ノコトハ實際上餘程攷究ノイルコトデアラウト存ジマス、デ是等モ定メテ發案者賛成者ニ於カレテハ御攷究ノアツタコト、ハ存ジマスルガ、一般ノ諸君ニ於キマシテハ未ダ議案配付後、間モゴザイマセスカラ御攷究ノ間モナカラウト存ジマスルシ、又此議員中ニハ從來東京府廳ニ關係ヲ持ツタ方々モ澤山ゴザイマスカラ、其邊ノコトモ十分ノ御攷究アリタイト存ジマスカラ、政府委員ニ於キマシテ之ヲ延期シテ次期ヘ延ベタイト申シマスノハ甚ダ御尤ナコトダト存ジマス、デ願ハクハ發案者諸君ニ於キマシテ此際此議決ヲ御見合セニナルコトヲ御請求ニナツテ、來年ニナツテ出サレタ方ガ宜カラウト思ヒマスル位デアリマス、ヨシンバ此案ガ本院ニ於キマシテ可決ニナリマシテ衆議院ヘ回リマシタ所ガ衆議院ニ於テ最早此一兩日ノ間ニ之ヲ議定シテ仕舞フト云フコトハ決シテ出來マスマイト思ヒマス、サスレバ唯本案ヲ輕辛ニ經過シタマデニ止リマスルカラ敢テ之ヲ急イデ勿卒ニ議決セヌナラスト云フコトハアルマイト存ジマス、デ唯今申シマシタ品川町、淀橋、千住ナドノ外ニ此郡ヲ除ケマスルト西多摩、南多摩、北多摩、此三郡ガ附イテ居リマス、此三郡中ニハ東京ニ於テ實ニ二百萬人ノ生命ニモ關スル程ノ用水ガ全ク西多摩郡ガ水源デ出テ居リマス、之ヲ東京ニ持ツテ居リマセスト云フト種々水源ノ養ヒ方カラ何カニ差支ヲ生ジマスルノデ、確ニ二十五年ノ頃、富田君ノ奉職中ト存ジマスルガ、ソレマデニモ種々神奈川ニ掛合ヲ附ケテゴザイマシテ、ヤウノコト、之ヲ東京府ノ方ヘ附屬替ニナリマシテ始テ此上水ノ水源ヲ東京自カラガ處スルコトニナツテ來マシタ事デゴザイマス、デ此多摩郡ノ東京府ニ於ケルト云フモノハ實ニ非常ナ關係ヲ持ツテ居ル、是等モ他縣ニ取離シタト申シテモ是ハ道理ヲ以テ處置スレバ宜イデヤナイカト云ヘバ言ヒマスルモノ、授テ妙ナモノデゴザイマシテ、縣ガ分レマスルトサウ自由ニハナリマセヌモノデ、今日マデデモ水源ノ山林ヲ伐ルナド、云フコトガ澤山アツタモノデアリマスカラ、ソレヲ制シテ吳レナイカト云フ掛合ヲシマシテモ、サウ自由ニナリマセヌカラ、遂ニ段々ノ掛合カラ神奈川縣ノ方デモ承知スルヤウニナリ、政府ニ於テ所屬替ヲシタト云フ位デ、此水源ト云フモノハ東京市ニ持ツテ居リマセスト非常ナ困難ヲ他日ニ生ズルヤウナコトニナル、或ハ水源ニ於テ工業ヲ起ストカ水ヲ使用スルトカ云フコトガ生ジマスルト、ドノ位ノ不都合ヲ來スカモ知レナイ、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、市ニ接近シテ續イテ居リマスル今ノ品川町ノミナラ

ズ此多摩郡ト云フモノハ決シテ東京トハ離レルコトハ出來マセヌモノト存ジマス、デ是等モドウ云フ都合ニ致シタラ宜イカ、ソコハ能ク攷究ヲ盡サヌケレバナリマセヌ、併シサウ申セバ東京都、千代田縣ノ組合法案ト云フモノガ立ッテアツテ組合法ヲ以テ雙方ノ都合ノ宜イヤウニ事ヲ協議スルカラ氣遣ヒナイト發案者ハ言レルカモ知レマセヌガ、此組合法ト云フニモ自ラ簡條ノ極リガアツテ是ノ事ヲスルト、チャント平常カラ極メテ置カナケレバナラヌ、水源ナリ其外ノ事ニナリマシテハ、ナカノ組合法ヲ以テコチラノ自由ニハナリマセヌ、是モ一ノ煩ヒデゴザイマス、旁以テ是等ノ事ヲ攷究スルニハ十分ノ餘地ヲ以テ攷究シマセイデハ唯十四日ノ提出デ十九日ノ委員會一席デ決シタト申スヤウナコトデハ賢明諸君ノ御攷究ハ届イテ居リマセウケレドモ、如何セン勿卒ニ議定スルト云フコトハ免レマセヌト存ジマス、デ今ノ市制ノ市會ノ紛亂ナドニ依リマシテ感觸上早クシタイト云フ主意ハ尤デアリマスガ、是ハ一年半年後レマシタ所ガ……若シモ勿卒ニ議定シマスト實際上行フベカラザル差支ガアル、方法ニ附イテ差支ガアルヨリハ之ヲ一年延ベテ十分ニ審査ヲサレルガ發案者ニ於テモ德義上然ルベキコトデアラウト存シマス、デ本員ノ希望致シマスル所ハ發案者ニ於カレマシテ願ハクハ此際今日ニ議決スルコトヲ御撤回ニナリマシテ此次ノ議會ニ提出サレタイト云フコトノ請求ガアレバ至當ノコト、存ジマス、其通ナレバ重疊デゴザイマスガ、若シ然ラズシテ是非トモ之ヲ此席ニ於テ議定セヌナラスト云フコトデアリマスルト、本員ハ之ニ附キマシテ一ツノ不安心ガゴザイマス、デ此都制其外ノ案ニ附キマシテ委員十五名ヲ立テラレマシテ、十五名ノ多キニシタト云フモノハ、唯今ノヤウナ此邊ノ事ヲ行届イテ攷究ヲ盡サウト云フコトカラ生ジタコトニ相違ゴザイマセヌ、申スマデモナク議院法第二十條ノ第四項ニ特別委員ハ一件ヲ審査スルタメニ立テルト云フコトガアリマスルノデ、此審査ヲスルニ附キマシテハ僅ニ一日ノ委員會デ可決ニナツタト申スノデハ、成ル程從前カラ審査サレタ方ハ宜ウゴザイマセウガ、ドウモ其席上ニ於テ審査ガ出來マシタトハ不安心ト存スル、デ是ハ委員ト云フモノハ議長ニ委託シマシタ以上ハ議長ノ御選任ニ於テ少モ非難ヲ申ス譯デハゴザイマセヌガ、何ゾ偶然ノ出來事ト見エマシテ、十五名ノ委員ノ中十一名マデハ此原案賛成者諸君デゴザイマス、原案賛成諸君ノ外カラ出マシタノハ僅ニ四人ホカゴザイマセヌ、其十一名ハ清棲伯始メ五名ノ發議者、松岡君始メ六人ノ賛成者、此十一人ダケハ皆此案ノ發案ニ載ッテ居リマスル發議者賛成者ノ姓名デゴザイマス、デ此審査ヲスルト

云フ上ニナリマスレバ、始ヨリ之ヲ賛成シテ居ル方々ガ十一名モアッタ
云フモノハ、賛成ノ方ハ審査ガ届キマセウケレドモ非難ヲ以テ是ハドウアル
カ、アレハドウアルカ、斯様ナ困難ハドウアルカト云フ點ニ至ルマデノ審査
ハ恐ラクハ賛成ノ委員ガ勝ッテ居リマスカラ、其方ヘハ行届キマシテモ、此非
難ノ事ヲ十分ニ盡スト云フコトノ御審査ハ一日デハ迎モ盡スコトハ出来ナン
ダデアラウ、又始ヨリ發案者賛成者ガ十一人ト爲ッテ居リマスレバ是ハ可決ス
ルコトハ分ッテ居リマス、愈、此席デ是非議決セヌナラスト云フコトデアリマ
スレバ、本員ハ建議ヲ致シマス、願ハクハ此十五名ノ委員ノ上ニ今十五名ヲ加
ヘマシテ其十五名ハ此賛成者ニアラザル者ノ名前ヲ御選ビニナッテ三十人ノ
委員ヲ以テ十分ニ攷究サレタ上ニ議決スルヤウニナリタイト存ジマス、此委
員ノコトニ附キマシテ議長ニ委託致シマシタ以上ハ決シテ其非難ヲ言フノデ
ゴザイマセヌガ、偶然ノ出来事ト存ジマシテ今ノ發案者ト賛成者トガ十一名
ノ勝ヲ占メテ居リマスカラ、委員會ニ於テハ非難ノ方ノ審査ハ出来兼テツラ
ウト本員ハ信ジマス、願ハクハ能ク靜慮ナスッテ顧ミ考ラレテ發案者ヨリ此場
合ニ於テ議決スル猶豫ヲ御請ヒナサレバ誠ニ重疊、然ラズンバ十五名ノ新規
ノ委員ヲ加ヘテ都合三十名トシテ今一段委員會ニ於テ十分ニ調査ヲ盡サレル
ヤウニナリタイ、ソレマデニ盡サズシテ此案ニハ大層ナ御賛成者ガゴザイマ
シテ、賛成者バカリ九十二名ゴザイマス、發案者ヲ入レマスルト九十七名、
デ或ハ賛成者ノ御方ガ勝ッテ居リマスカラ議場ニ於テハ容易ニ可決ニナルカ
モ知レマセヌ、若シ其ヤウナ事ガアッテハ甚ダ勿卒ニ失スルコト、本員ハ考
ヘマス、此事ハ議場デ勿卒ニ失セザルヤウ議案ノ事柄ガ唯、一事件トハ違ヒ
マシテ大ニ關係ノ多イ事デゴザイマスカラ、鄭重ヲ盡シテ不行届ノナイヤウ
ニ議院ノ體裁ヲ保タル、ト云フコトノタメニ一言ヲ發シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット三浦君ニ確メテ置キマスガ、モウ十五名
ノ委員ヲ増加シテ再付託スルト云フ動議デゴザイマスカ

○三浦安君 左様デゴザイマス、是マデノデハ十一名賛成者バカリノ委員デ
ゴザイマスカラ、是デハ十分ニ出来スト本員ハ考ヘマス

○一木喜徳郎君 私ハチョット辯明ヲ致シタウゴザイマスカラ、ソレヘ出
テ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○一木喜徳郎君 此問題ハ頗ル重要ナ問題デゴザイマスルカラ、勿論三浦サ

ンノ御述べニナリマシタ通勿卒ニ議スベキ事デハナイト考ヘマス、ソレデ三
浦サンノ唯今御議論ニナリマシタ點ニ附キマシテハ十分ニ提出者ノ趣旨ヲ辯
明シテ置キタイト考ヘマス、唯今本案ヲ一應撤回シテハドウカト云フ御忠告
ガアリマシテ、誠ニ御親切ナル御忠告デハゴザイマスルガ、提出者ニ於キマ
シテハ是ハ十分ニ考案ヲ凝シマシタ上ニ他ニ適當ノ方法ガナイト認メテ提出
致シタノデゴザイマスカラ、此案ニ對シテハ十分ニ確信致シテ居ルノデゴザ
イマス、又委員再付託ノ御説モゴザイマシタガ、再付託ニナリマスルノナラ
バ何カ委員ノ調査ガ疎漏デアッタト云フ點ガアリマスルナラバ格別デゴザイ
マスガ、唯會ヲ開イタ度數ガ少カッタト云フコトヲ以テ再付託ノ理由ト致ス
コトハ不適當デアラウト思フノデゴザイマス、元來斯ノ如キ問題デゴザイマ
スカラ、先刻特別委員長カラ報告モゴザイマスル通既ニ我々ハ十分ニ考ヘテ
居ル問題デゴザイマス、又其細目ニ至リマシテハ是ハ現行制度ノ據ルベキモ
ノガアルノデゴザイマスカラ、敢テ議論ヲ長ク費ス程ノ必要ハナイノデゴザ
イマス、此要點ニ附キマシテハ既ニ積年諸君ガ御攷究ニナッテ居リマス所ノ
問題デゴザイマスカラシテ、詰リ議決ガ速ニ出来マシタト云フコトハ、先
刻特別委員長ノ述べラレマシタ如ク全ク其結果デアラウト思フノデゴザイマ
ス、デ詰リハ特別委員ノ調ガ疎漏デアルヤ否ヤト云フコトニ附イテハ、先刻
三浦サンノ御述べニナッタ所デハ、詰リ郡ヲマルデ離シテ仕舞フト云フコト
ガ不安心デハナイカト云フコトニ歸スルヤウデアリマス、此點ハ勿論我々提
出者モ十分ニ攷究ヲ致シマスルシ、又賛成ノ方ニモ十分ニ御攷究ニナッテ居
ル點デアラウト思ヒマスル、ノミナラズ特別委員ニ於キマシテモ隨分議論
ノアツタ點デアリ、又十分ニ審議ヲシタ點デアルノデゴザイマス、ソレデ三浦
サンハ此案ニ據ルト從來ノ東京府ノ郡部ハ全ク都ト關係ヲ絶ッテ仕舞フ、サ
ウスレバ水道ノ事ノ如キモ差向キ困ルデハナイカト云フ御議論ガアリマスル
ガ、此案ハ決シテサウ云フ趣旨デハナイノデゴザイマス、ソレデ過日提出ノ
理由ヲ述ベマスル際ニモ申シマシタ通、詰リ此案ハ東京都ヲ一ツノ別ノ自治
體ト致シ、尙ホ其外ニ縣ト云フ自治體ヲ設ケルケレドモ行政ノ機關ハ之ヲ共
同ニスルト云フ精神デアルノデゴザイマス、即チ今日ト其點ニ於テハ異ナル
所ガナイノデ、今日ハ東京府ノ中デ市部ト郡部ノ區別ガアッテ、郡部ハ獨立
ノ經濟ヲ持ッテ居リ、自ラ一ツノ團結ノ姿ヲ爲シテ居ルノデアル、ソレデ郡
部ハ郡部會ト云フ機關モアリ、郡部參事會ト云フ機關モアル、又市部ニ於テ
ハ市部參事會、市部會ト云フ別ニ機關ガアルノデゴザイマス、唯併ナガラ同

ジ東京府知事ガ之ヲ統轄シテ居ルト云フ所デ聯絡ヲ保ッテ居ルノデゴザイマス、其點ハ此都制ヲ施行シタ後ニ於キマシテモ少モ變リハナイト云フ考デ、即チ行政ノ聯絡ヲ十分ニ保ッテ行クコトガ出來ルカト確信スルノデゴザイマス、又現在ノ東京市ノ區域モ適當デナイ或ハ千住品川若クハ板橋ト云フヤウナモノハ東京市ノ區域ニ編入シタラドウデアアルカト云フノハ是ハ御尤ナ御議論デアリマスガ、是ハ制度ノ變更ニ關係ナイ問題デアルト信ズルノデアリマス、即チ現行制度ノ下ニ於キマシテモ東京市ノ區域ハ今少シ擴メテ郡部ノ内デ幾ラカ市街地ノ形ヲ爲シテ東京市ト殆ド繼續シテ居ル所ヲ東京市ノ區域ニ組込ンデハドウカト云フコトハ是ハ現行制度ノ下ニ於テモ起ル所ノ問題デアリマス、決シテ此法案ノ提出ニ依ッテ此問題ガ決スルト云フ考デハナイノデアリマス、此法案ヲ施行セラル、ニ至リマシテモ決シテ現在ノ區域ハ永久其儘ニシテ置イテ宜イト云フ提出者ノ考デハナイノデアリマス、即チ此都制ヲ施行シタ後ニ於キマシテハ尙ホ此區域ヲ幾分カ變更スルノ必要ガアレバ、即チ都制法案ノ規定ニ據リマシテ之ヲ變更シヤウト云フ考デアアル、詰リ唯今御述ベニナリマシタ區域ノ如キハ或ハ東京都ノ區域ニ編入シテモ宜イカモ知レマセヌガ、併シ先刻モ述ベマシタ如ク現在ノ制度ノ下ニ於テモ是ハ起ル問題デアアルカラ詰リ制度ノ變更ト云フコトニハ關係ハナイ、別問題トシテ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレデ東京府ノ從來ノ郡部ヲ別ノ區域ニスルト云フコトニ就テ追々御疑ガアルヤウデアリマスガ、是ハ實ニ已ムヲ得ナイコトデアラウト考ヘルノデアリマシテ、此方法ヲ採リマセヌ以上ハ郡部ノ區域ハ之ヲ他ノ縣ヘ持ッテ行ッテ食附ケルト云フコトニスルカ、然ラザレバ縣ト云フモノヲ設ケズニ直チニ郡デ總テノ事ヲスルト云フコトニスルカ、ドチラカノ方法ヲ採ルノ外ハナイト思フノデアリマス、然ルニ他ノ縣ヘ之ヲ附ケマスルト云フコトハ先刻モ三浦サンノ丁度御述ベニナリマシタ理由ニ依ッテ即チ三多摩郡ノ如キハ特ニ離ルベカラザル關係ガアルカラシテ之ヲ他ノ縣ヘ食ッ附ケルコトハ出來ナイ、又築港事業ニ就キマシテ將來此築港事業ニ影響スル所ハ一ツノ東京市バカリデナイ、羽田大森ト云フ所ヘモ影響ガ及ブト思ヒマス、サウ云フ譯デアリマスカラ從來ノ郡部ヲ他ヘ食ッ附ケルト云フコトハ出來ナイ、又然ラバ之ヲ郡トシテ縣ノ區域以外ニ置クカト云フコトハ制度ノ上デ實際出來ナイコトデアリマス、即チ現在ノ所デハ府縣ノ廳舎建築修繕費、或ハ監獄費……イヤ、監獄費デハナイ警察費トカ郡廳舎建築修繕費、郡吏員給料旅費ト云フ郡ガ負擔シテ居ルモノハ若シ縣ヲ設ケナカタナラバ、東京府ノ從來ノ郡部ニ於

テ誰ガ是等ノ負擔ヲスルカト云フコトガ直チニ問題ニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、ドウシテモ東京都ノ區域ヲ別ニシマス以上ハ、從來ノ東京府ノ郡部ハ之ヲ別ニシテ、即チ縣トスルノ外途ハナイト思フノデアリマス、併シ之ヲ縣ト致シマシテモ、先刻モ述ベマス如ク行政ノ聯絡ハ十分ニ保チマスルガタメニ東京都ト千代田縣トハ同ジ行政機關ヲ以テ事業ヲ擔任セシメテ行クノデアリマスカラ、決シテ三浦サンノ御心配ノ如キコトハ出テ參ルマイト思フノデアリマス、要スルニ此郡部ト市部トノ關係ニ附キマシテハ十分ニ提出者モ研究致シ、是ハ獨リ今日研究ヲ始メタノデハナイ、既ニ數年研究致シテ居リ、又特別委員會ニ於テモ此點ニ附イテ反對ノ意見モアリ十分ニ審議ノアッタコトデアリマスカラ、今サウ更ニ審議ヲスルノ必要ハゴザイマスマイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ衆議院デ議決スル餘暇モアルマイト云フコトデアリマスガ、如何ニモ會期ハ切迫ノ時デハゴザイマスガ、併シ若シ衆議院デ此法ハ如何ニモ尤ナ法案デアアル、是ヨリ外ニ途ハナイト信ズルナラバ未ダ此通過ノ餘日モアルノデアリマス、加之衆議院モ早クカラ此研究ニ著手スルノ機會ヲ得テ居ル方ガ宜カラウト思フノデアリマス、ダカラシテ此點ニ拘ラズ兎ニ角本院ニ於テハ此法案ハ可決セラレマスルコトヲ切望致シマス

○村田保君 本員ハ先程三浦君カラ延期ト云フヤウナ……實ハ半途カラ承リマシタカラ十分存ジテ居リマセヌガ、ドウカ延期ノ説ガ出マシタヤウニ見エマス、本員モドウカ之ヲ延期シテ次ノ議會ニ出サレンコトヲ希望スルノデ、何ゼナラバ此案ト云フモノハ成ル程唯今ノ一木君ハ始カラ能ク御存ジデモアリマセウガ、我々共ハ僅カ一週間ノ間ニ此重要ナル問題デゴザイマスカラ、東京府ヲ更ニ千代田縣ニスルトカ或ハ都制ヲ施クト云フヤウナコトハ、ナカナカ餘程重要ナル問題デゴザイマスカラ、本員ハ反對ト云フ譯デハナイデゴザイマスガ、ドウゾ之ヲ熟考シタイト思ヒマス、且又三浦君モ言ハレマシタガ、例ヘバコチラハ通りマシテモ衆議院ノ方ガ如何デアラウカ、衆議院デ握潰シニナルモノナラバ、寧ロ此方デ握潰シタ方ガ宜イ未タ我々サヘ十分見ナイト云フモノヲ衆議院ノ方デハ僅カ一日カ二日デ見ルト云フコトハ到底人力ノ及バヌ所デアラウト思フ、ソレ故ニドウゾ次ノ議會マデ延サレマシテ、我々ニ熟考ノ時間ヲ與ヘラレンコトヲ希望スル、併シ此案ヲ見マスルト殆ド百人ノ贊成ガアリマスカラ、非常ナ高デアリマスカラ、或ハ通過スルカ知レマセヌガ、併シ百人程ノ贊成ノ御方ハ此事柄ニハ贊成デアラウガ何分此切迫シタ一日カ二日ノ間ニ議スルト云フコトハ恐ラク贊成デハアルマイト存ジマス、成

ル程事柄ダケハ賛成デアラウト思ヒマスガ、ドウゾ賛成ノ諸君モ成ルベク此
次マデ熟考ノ時間ヲ與ヘラレンコトヲ御賛成下サリマシテ今日ハ此案ヲ延ス
ト云フコトヲ本員ハ希望致シマス

〔三浦安君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 三浦君ハ何デスカ

○三浦安君 先刻建議ノ意見ヲ述ベマシタガ、未ダ賛成ガアリマセヌカラ成
立チマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 一人賛成ガアレバ成立チマスガ、未ダ一人モ賛成
ガアリマセヌ

○三浦安君 ソレデハ建議ガ成立チマセヌナラ意見ヲ述ベマス、斯ノ如キ重
大ノ議案ヲ僅ノ間ニ議決スルコトハ甚ダ願ハシクナイカラ願ハクハ否決アラ
ンコトヲ希望致シマス

○宮本小一君 此案ニ就キマシテハ一讀會ノ時ニモザット意見ヲ述ベテ置キ
マシタガ、ソレハ今三浦君ガ述ベラレマシタ意味ノモット簡單ナルコトヲ一言
述ベテ置キマシタダケノコトデ、唯今三浦君ヨリ致シマシテ縷々述ベラレマ
シタカラ此利害得失ハ述ベマセヌ、三浦君ガ最前述べラレマシタ委員ヲモウ
一度十五名選バレタイ、前ノ委員ノ中ニハ賛成ガ多クテ反對ガ少イト云フヤ
ウナ細ナ御論ニハ甚ダ感服致シマセヌカラ、ソレハ御取消ニナツテ又今此案
ヲ否決スルト云フ發議ガ出マシタガ、否決ト云フ字ハ甚ダ望マシクナイ、是
ハドウゾ來年ノ……當年ノ冬ノ議會ニ十分ニ成立タセタイト思ヒマスカラ、
其時ノ用意ニ否決ト云フ字ハ甚ダ御氣ノ毒ニゴザイマス、サリナガラ今日又
此處デ何カグズ、握リ潰スト云フコトハ如何ニモ此場合デ通りマスマイカ
トモ存ジマスカラ、是ハ唯延會ノタメニ否決ト云フナラハ十分ニ賛成致
シマス

○三浦安君 延期ノタメニ否決

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ヲ二讀會ニ移スベシトスルヤ否ヤト云フコト
ニ附イテ決ヲ採リマス、本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、二讀會ニ移スベシト決シマス
○伯爵清棲家教君 日程ヲ變更サレマシテ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望
致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ニ移リマス、第一條ヨリ第七十條
マデ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ナクハ原案ニ決シマス、第七十一條

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクハ委員會ノ修正ニ決シマス、第七十
二條

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員會ノ修正ニ決シマス、第七十三條

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクハ委員會ノ修正ニ決シマス、七十四
條ヨリ七十九條マデ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ原案ニ決シマス、八十條

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員會ノ修正ニ決シマス、八十一條ヨリ
八十五條マデ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ原案ニ決シマス、八十六條

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクハ委員會ノ修正ニ決シマス、八十七
條ヨリ八十九條マデ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員會ノ修正ニ決シマス、第九十條

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員會ノ修正ニ決シマス、九十一條、是
ハ委員會デハ削除ニナツテ居リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者アリマセヌ、ソレデハ削除ニナリマス、次ニ九十二條

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員會ノ修正ニ決シマス、九十三條ヨリ百條マデ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ原案ニ決シマス、百一條、百一條ハ是ハ簡條ノ變リマスタメノ修正デアリマスカラ是ハ無論御異議ハナイモト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員會ノ報告通總テ可決ト認メテ宜シウゴザイマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ハ是ニテ終リマシタ

○子爵堤功長君 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

〔賛成「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ三讀會ニ移ツテ宜シウゴザイマスルカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 三讀會ニ移リマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ千代田縣ノ設置ニ關スル法律案竝ニ東京都千代田縣組合法案ヲ合セテ問題ニ供シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○公爵徳川家達君 讀會省略ヲ願ヒマス

〔「讀會省略ニ賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ハ十名以上ノ賛成ガアリマシテ成立チマシタ、之ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシ

タ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 兩案トモ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○平山成信君 此際私ハ議事日程變更ノ動議ヲ提出シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット御待チ下サイ今報告スルコトガゴザイマス

〔小原書記官朗讀〕

本院ハ水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也

明治三十四年三月二十二日

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案兩院協議會成案

附則中「水害」ノ下ニ「蟲害、風害又ハ旱害」ノ八字ヲ加ヘ其ノ他ハ貴族院議決案ノ通トス

○公爵二條基弘君 唯今報告ニナリマシタ水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案協議會ノコトニ附キマシテ議事日程ヲ變更シテコ、デ議シタイト思ヒマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 二條君ノ動議ニ御異議ガナクバ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 水害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

○公爵二條基弘君 兩院協議會ノ結果竝ニ經過ヲ御報告致シマス、此委員會ハ本日午前十時ニ開キマシテゴザイマス、例ニ據ツテ當日ノ議長ノ抽籤ヲ行ヒマシタ所貴族院ノ方デ私が議長ニナルコトニナリマシタ、ソレカラ會ヲ開キマシテ能ク討議致シマシタ所ガ、先ヅ衆議院ノ方デハ種々ニ風害トカ霜害

蟲害ノコトニ附キマシテ其說ヲ述ベマシタ、又貴族院ノ方カラハ此貴族院ノ否決ニナツテ即チ水害ダケノ分ヲ殘シタ其事ニ附キマシテ此院議ヲ委シタ

委員カラ述ベラレマシタ、所ガ到底兩方サウ云フ工合ニ説ヲ出シタ所ガ經マ

ル見込ガアリマセヌ故ニ、又委員ヨリ一ノ動議ガ出マシテ、此兩院協議會ノ中

カラシテ貴族院衆議院カラ各三名宛委員ヲ選ンデ一ツ其者ニ調査ヲサセテ
ヤッタ方ガ宜カラウト云フコトニナリマシタ、ソレカラ雙方カラ三名宛ノ委
員ヲ選ビマシテ能ク協議ヲ遂ゲ、其結果ヲ以テマシテ總體ノ又議事ト云フモ
ノヲ開クコトニナリマシタ、ソレハ斯ウ云フ工合ニマア決議ニナリマシタ、
嚮ニ衆議院カラ回ッテ來マシタトキハ唯水害トカ蟲害霜害旱害ト云フモノヲ
加ヘテ來ラレマシテ、併シドウシテモ衆議院ノ方デハ此方ハ昨年アタリハ酷
イカラ除クコトハ出來ナイト云フ說デアリマシタ、ソコデ其協議會ノ說ニ依
リマシテ此本案ノ方デハ即チ貴族院デ可決ニナリマシタ通此「蟲害」カラノハ
字ト云フモノヲ除イテ仕舞ヒマシテ單ニ「水害」ト事フコトニシテ置ク、サウ
シテ此附則ノ方デ此水害ノ下ニ「蟲害風害又ハ旱害」ト云フ八字ヲ入レテ置キ
マスレバ即チ雙方ノ意思ガ是デ満足ニナルダラウト云フコトデアリマス、ソ
レハドウ云フ譯カト云ヘバ、即チ昨年ノ分ハ此害ハ皆世間ニアリマシタノデ
アリマス、隨分皆害ヲ被ッテ居ル、ソレデハ附則ノ方デ見マスレバ即チ昨
年ノ分三十三年度ノ分ハ是デ其免除ヲスルコトニナリマスカラ、當年カラノ
コトハ未ダ此案ニ於テハ見テナイト云フ譯ニナッタノデゴザイマス、デサウ
云フ都合ニナリマシタ故ニ、本案ノ方デハ即チ水害ダケデ當年ハ蟲害其他ノ
コトハ少モ此案ヲ以テ處置スルコトハマアナイヤウナコトニナリマシタ、サ
ウシテ昨年ノ分ダケヲ此附則ニ於テヤルト云フコトニ取極メタ譯デゴザイマ
ス、モウ其他ハ別段異議ハナク成案ノ通滿場一致ヲ以テ可決シタ譯デアリマ
ス、此段御報告シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 其通ニ決シマス

○平山成信君 私ハ此際議事日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、明治三十二年
度豫備金支出ノ件、明治三十二年度特別會計豫備金支出ノ件、明治三十二年
度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件、此三ツノコトハ衆議院カラ回ッ
テ來マシタノデアリマスガ、是ハ委員ニ付託シテ審査サレルコトデ、最早會
期モ切迫シテ居リマスカラ、ドウゾ日程ヲ變更サレテ此事ヲ議シテ委員ニ付
託サレンコトヲ希望致シマス

〔贊成「ト呼フ者多シ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ平山君ノ動議ハ其通……明治三十

二年度豫備金支出ノ件外二件承諾ヲ求ムルノ件

明治三十二年度豫備金支出ノ件

明治三十二年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送
付候也

明治三十四年三月二十一日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ例年提出致シマスル第一豫備金第二豫備金ノ
外、豫備金外支出ノ計算書デゴザイマス、三十二年度ニ於キマシテハ格別例
年ニ異ッタ出來事モゴザイマセスカラ別段ニ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、成
ルベク速ニ承諾ヲ與ヘラル、コトヲ希望シマス

〔侯爵細川護成君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ少シ早ウゴザイマス、此委員ハ議長指名デ御
異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○侯爵細川護成君 此際議事日程ヲ變更シテ事業公債及鐵道公債特別會計法
中改正法律案ノ議事ヲ開キタウゴザイマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 細川侯爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其通ニ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 事業公債及鐵道公債特別會計法中改正法律案、政
府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

事業公債及鐵道公債特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

右特別委員長

明治三十四年三月二十二日

侯爵 細川 護成

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔侯爵細川護成君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護成君 唯今議題ト爲テ居リマスル事業公債及鐵道公債特別會計法中改正法律案ハ理由書ニ書イテアリマス通至テ簡單ナ案デアリマシテ、臺灣銀行ヨリ借入レマスル一時借入金ヲ返償スルニ公債募集金ヲ以テスル場合ニ計算ノ重複ヲ避ケルタメニ特別會計ヨリ直ニ臺灣銀行ヘ返償スル方ガ手續上便利デアルト云フコトデ、此案ヲ提出サレタノデアリマシテ、委員會ニ於キマシテ審査ノ結果少モ反對モナクシテ可決致シマシタ次第デゴザイマス、此案ハ御承知ノ通極簡單ナ案デアリマスル故ニ讀會省略ヲ以テ直チニ可決アランコトヲ希望致シマス

〔讀會省略ニ賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ハ成立タト見マス、之ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス……本案ニ御異議ガナクバ其通決シマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 鐵道敷設法中追加ノ請願、會議

意見書案

鐵道敷設法中追加ノ件

愛知縣北設樂郡田口町平民今泉猪作外六百三十八名呈出

同縣南設樂郡田原村平民夏目馬太郎外五百三十四名呈出

同縣渥美郡豐橋町長福谷元次呈出

長野縣伊那郡大鹿村長松下直雄外三十六名呈出

右ノ請願ハ信濃國上下伊那ノ地タル物產豐饒就中生絲ノ產出ニ至リテハ全國ノ首位ヲ占ムルモ山嶽圍繞シ參河國北部トノ交通開ケス僅ニ舟筏ニ賴ルノ狀況ニシテ豐富ナル利澤モ發展スル能ハス故ニ此ノ間ニ於テ信參二國ヲ連絡スルノ鐵道ヲ敷設スルハ頗ル急要ナリ且參河國豐橋ノ地タル東海道ノ中樞ニ位シ殊ニ旅團本部ノ設置アルヲ以テ此ノ地ニ於テ中央東海二線ノ連絡ヲ關クハ實ニ帝國ノ不幸ナリトス加之彼ノ中央線ト直江津線トヲ連絡スル篠井線ハ信濃國辰野ニ於テ中央線ト接続スルヲ以テ更ニ辰野ニ起リテ同國飯田ヲ經テ私設鐵道豐川線ニ連絡スルノ一線ヲ敷設セハ之ニ直江津篠井

及豐川ノ三線ヲ併セテ首尾接續一貫シ帝國中央ノ幅員最廣キ部分ニ於テ南北橫斷線トナルヘシ故ニ本請願ノ線路ハ單リ東海道線ト中央線トヲ連絡スルノミナラス又直ニ日本海ト太平洋トヲ連絡スルモノニシテ軍事上及殖產上ニ於テ至大ノ利便ヲ與フヘキモノナルヲ以テ長野縣下辰野ヨリ飯田及愛知縣北設樂郡津具ヲ經テ愛知縣下南設樂郡大海ニ至ルノ鐵道ヲ鐵道敷設法中ニ追加セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十四年三月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

○子爵谷干城君 最早是ハ會期モ切迫デゴザイマスカラ第十九ヨリ第二十九マデ束テテ問題ニ供セラレテ速ニ政府ニ送付ニナランコトヲ希望致シマス……

〔賛成ト呼フ者多シ〕

鑛毒事件ハ殊ニヤカマシイ問題デゴザイマスカラシテハ屢々出ルコトデアリマスカラ何分政府ハ十分ニ注意ノアルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、其事ヲ一言申上ゲマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵ノ動議ニ御異議ガナクバ……束テテ問題ニシマス

意見書案

大日本尙武社設立ノ件

大分縣北海部郡臼杵町平民旗野如水呈出

右ノ請願ハ兵役ハ固ト男子ノ義務ナリト雖衆人ニ代リテ三箇年ノ長日月間兵役ニ服シ國家保護ノ重任ヲ負フ者ナルヲ以テ徵兵適齡者ニシテ現役ヲ免レタル者ハ勿論國民軍籍ニアル者ハ現役者及其ノ家族ニ對シ相當ノ保護報酬ヲ與ヘテ人類ノ情誼ヲ盡サ、ルヘカラス抑モ現役兵ハ物價騰貴ノ今日一日僅々三錢乃至四錢ノ官給ヲ受クルヲ以テ勢ヒ郷里ノ父兄ヨリ送金ヲ仰ギ纔ニ其ノ體面ヲ維持スルノ狀態ナリ而ルニ其ノ父兄タルヤ賴テ以テ生計ノ維持者若ハ扶助者トナル壯丁ヲ失ヒタル上ニ種々送金ヲ要求セラル、爲其ノ貧困ナル家道ノ益々貧苦ニ陷ルコトハ比々皆是ナリ實際斯ノ如キ事實アルニ拘ラス現役兵ノ官給ヲ裕ニスルコトハ事情ノ許サ、ル所アルヲ以テ茲ニ各府縣ニ設ケラル、兵事獎勵會ノ規模ヲ擴張シテ兵役者ヲ救護セムトス其ノ方法ノ大要ハ組織ヲ赤十字社ニ倣ヒ國民軍在籍者全體ヲ入社セシメ其

ノ在籍年限中每一人一年十錢宛ヲ義捐セシメ又徵兵適齡者ニシテ現役ヲ免
セラレタル者ヲ入社セシメテ現役年限間每一人一年壹圓宛ヲ義捐セシムル
等ノ方法ニシテ年々約百九十五萬餘圓ヲ蒐集シ之ヲ以テ其ノ一部ヲ社ノ基
本金トシ一部ヲ非常軍事費積立金一部ヲ恤兵費トシ一部ヲ滿期歸郷兵ノ慰
勞費トシ一部ヲ現役兵ノ家族保護兵事獎勵會費及戰死者招魂祭費トシ一部
ヲ各郡兵談會費トシ一部ヲ府縣選出軍人志願者養成費等ニ充ツルニ在リス
ノ如クスレハ兵事獎勵ノ實效洵ニ顯著タルヘク依テ政府ニ於テ保護統轄シ
全國一體ノ組織ヲ設ケ以テ兵事獎勵ノ實ヲ舉ケタシトノ旨趣ニシテ貴族院
ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及送付候也

明治三十四年三月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

意見書案

復族ノ件

宮崎縣兒湯郡西米良村平民菊池重明外二百十八名呈出

右ノ請願ハ明治二年請願人等ノ舊主菊池次郎ハ士族ニ、請願人等ハ平民籍
ニ編入セラレタルモ之ニ反シ舊主ト同様幕府ノ交代寄合タリ山村甚兵衛
千村平右衛門等外數名ノ舊家來ハ其ノ主家ト同シク士族籍ニ編入セラレタ
ルハ頗ル失當ノ處分ナリト思惟セリ然レトモ請願人等ハ舊主家士族タル間
ハ敢テ主家ト同様ニ士族ヘ編入セラレムコトヲ欲セス其ノ儘差控ヘ居リタ
ルニ舊主家ハ明治十六年辱クモ華族ニ列セラレタルヲ以テ請願人等モ此ノ
際士族ニ編入セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十四年三月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

意見書案

區裁判所出張所設置ノ件

新潟縣北魚沼郡須原村村長目黒卯助外四名呈出

右ノ請願ハ請願人等居住ノ諸村ハ古志郡長岡區裁判所小出町出張所ノ管轄
ニ屬スルモ距離八里ニ餘リ且山岳四周シテ冬春ノ候積雪五箇月以上ニ及登

貴族院議事速記録第十六號

明治三十四年三月二十二日

請願 會議

記事件最夥多ナルノ際ニ於テ其ノ申請困難ニシテ爲ニ金融杜絶シ殖産工業
ノ發達ヲ阻碍シ住民ノ不幸擧テ數フヘカラス故ニ須原村ヘ區裁判所出張所
ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト
議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十四年三月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

意見書案

商業會議條例改正ノ件

東京商業會議所會頭男爵澁澤榮一呈出

右ノ請願ハ現行商業會議所條例第九條中會員ノ數ハ五十名以上五十名以下
トアルモ商業會議所ノ如キ事實ノ研鑽講究ヲ要スル機關ニ在リテハ可成多
種ノ商業者ヲ會員トナシ以テ全般ノ商業者ヲ代表セシメサルヘカラス然ル
ニ現行條例ノ規定ハ會員ノ定限狹隘ニ過キ爲ニ會議所ヲシテ其ノ機能ヲ完
フスルコトヲ得サラシム東京ノ如キ多數ノ人口ヲ有シ商業ノ規模廣宏ナル
大都會ニ在リテハ殊ニ然リトス故ニ本會議所條例第九條ヲ改正シ會員數ヲ
十五名以上百名以下ト改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體
ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候
也

明治三十四年三月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

意見書案

在外賣淫婦取締法制定ノ件

東京市麴町區上二番町平民矢島楯外千六百八十一名呈出

右ノ請願ハ今ヤ日本ノ汚辱トナルヘキ密航賣淫婦ハ太平洋ノ沿岸ニ遍ク朝
鮮支那上海香港ヨリ新嘉坡南洋諸州又ハ北米ノ地方ニ及其ノ狀態言フニ忍
ヒサルモノアリ或ハ無智蒙昧ノ徒唯利之貪ルヨリ誘拐者ノ黠策ニ陥リテ終
ニ其ノ欺カレタルヲ悟リ非ヲ悔テ歸國セムト欲スルモ能ハサルモノ多々之
アリ是全ク取締法其ノ宜ヲ得サルニ由ラスムハアラサルヲ以テ速ニ適宜ノ
法律ヲ制定シ之ヲ禁遏セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十四年三月 日 貴族院議長公爵近衛篤磨
内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

意見書案

鑛毒被害救済ノ爲調査會設置ノ件

埼玉縣北埼玉郡川邊村平民長澤惣吉外六百八十名呈出

右ノ請願ハ足尾銅山主ハ曩ニ政府ノ命令ニ依リ毒水ヲ濾過シ烟毒ヲ消除スルカ爲メ沈澱池、脫硫塔等除害ノ設備ヲ爲シタルモ爾後ノ實況ニ徴スルニ沈澱池ハ降雨毎ニ氾濫横溢シ脱硫塔ハ高臺ト成リタルカ爲烟毒播布ノ地域ヲ廣メ毫モ其ノ效ナク被害ノ慘狀益々甚シク山野生色ナキニ拘ラス昨三十三年九月ヲ以テ免租滿期トナリ收稅更ハ納租ヲ迫リテ止マス人民ノ困苦甚キヲ以テ議會ニ於テ鑛毒被害處分法ヲ決定シ且再ヒ調査會ヲ設ケテ十分請願人等ノ權利生命財產保全ノ道ヲ立テラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十四年三月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

意見書案

庄内川改修ノ件

愛知縣海東郡萬須田村長江場市衛外三十七名呈出

右ノ請願ハ庄内川ハ全國大河川ノ一ニシテ源ヲ美濃國ニ發シ尾張國ニ入リ矢田川ト會流シ數郡ヲ横貫シ伊勢灣ニ注クモノナルカ其ノ性質他ノ河川ト趣ヲ異ニシ泥沙ノ堆積川底ノ隆起間斷ナク深ノ至ルアレハ濁漲忽チ氾濫シ堤塘ヲ決潰シ沿岸ノ鄉村之カ禍害ヲ被ムルコト頻年絶ユルコトナシ故ニ毎ニ兩岸ニ嵩置工事ヲ施シ以テ纔ニ一時姑息ノ防禦ヲ爲スト雖水害常ニ熾マシ既往三十箇年間ヲ概算スルニ少クトモ損害額五百三十五萬三千餘圓ノ巨額ニ上リ沿岸一市百二十六箇町村カ窮困疲弊ニ陥ルノ狀態ハ殆ト意想ノ外ニ出ツ是ヲ以テ貴衆兩院ニ於テモ本請願ヲ採納セラル、コト既ニ數回ニ及爾來政府ニ於テモ國費ヲ以テ之ヲ測量シ既ニ完決セラレタリト聞ク依テ速ニ適當ノ設計ヲ立テ本川改修工事ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト決定致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

冊及送付候也

明治三十四年三月 日 貴族院議長公爵近衛篤磨
内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

意見書案

人命救助ノ件

栃木縣上都賀郡足尾町平民星野崎次郎外二十四名呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ居住地ハ元ト土質豐壤ニシテ農產物及養蠶ノ收穫頗ル裕カナリシモ明治十六七年頃ヨリ足尾銅山烟毒ノ害ヲ被リ明治二十二年ニハ養蠶ヲ全廢スルニ至リ又同二十八年ニハ農作物ノ收穫平年ノ半額ニ減セリ而シテ同三十年鑛業主ハ政府ノ命令ニ依リ諸種ノ鑛毒豫防除害工事ヲ施セルモ其ノ工事ハ毫モ除害ノ效ナク却テ益々被害ヲ劇甚ナラシメ山林枯死シ田畑荒廢シ馬匹斃死シ加之產兒ハ夭死シ生母ハ乳出ナス赤貧洗フカ如キ困苦中ニ於テ「スリ粉」牛乳ヲ以テ纔ニ乳兒ヲ哺育スルノ慘狀ニ陥リ明治二十五年ニ比スルニ戸口實ニ三分ノ一ヲ減シ遠カラズ全滅スルノ悲運ニ至ルヘシ而カモ足尾銅山鑛業者ハ條例ニ準據シ適法ノ營業ヲ爲スモノナリトテ被害地ノ慘害ヲ顧ミサルヲ以テ帝國議會ニ於テ請願人等ノ生命保存ノ案ヲ立テ應急ノ救助アリタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト決定致候依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十四年三月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

意見書案

葉煙草專賣法改正ノ件

神奈川縣橫濱市吉田町鈴木稻之助外八名呈出

右ノ請願ハ葉煙草專賣法施行以來既ニ四箇年ニ及フモ其ノ賣下金額未タ一回モ豫算額ニ達スルヲ得サルハ實ニ全國各地ニ行ハル、葉煙草密賣買之カ大原因ナリトス而シテ密賣買ノ盛行ハ專賣法中關點多キニ原因ス故ニ請願人等ハ之カ救済策トシテ第一ニ煙草業組合組織ヲ法定シ以テ密賣買ノ爲ニ正業者ノ被ル損害ヲ禦キ第二ニ營業區域ヲ制限シテ耕作者ト營業者トノ住居ヲ遠隔ナラシメ以テ二者ノ密賣買ヲ取締ルニ便利ナラシメ第三ニ專賣利率ヲ復舊シ且之ヲ一定シテ一方ニ於テハ増率ノ爲ニ益、盛行スルニ至レル

密賣買ヲ制止シ地方ニ於テ稅率ノ高低ニ依ル營業者ノ投機取引ヲ禁壓シ
第四ニ現行法ハ既成品ノ賣買ニ關スル取締ナキニヨリ其ノ營業者間ニ不正
品ノ販賣行ハル、ヲ以テ既成煙草仲賣及小賣人ニモ製造業者葉煙草賣買業
者ト同シク免許料ヲ課シ第五ニ犯罪者ニ對スル罰金輕ニ失スルヲ以テ之ヲ
増加シ第六製造業者ヲシテ其ノ製品ニ包裝ヲ施シ住所氏名ヲ記入セシメテ
取締ニ便ニシ第七政府ハ煙草製造業者ニ廣ク各地產葉煙草ノ長所ヲ知ラシ
メ彼此配合ノ妙ヲ會得セシメ且全國ノ需給ノ均一ヲ計ルトノ理由ヲ以テ營
業者ノ希望セサル葉煙草ヲ各地支局ニ回送シテ之ヲ強ヒテ賣下クルハ營業
者ノ迷惑甚シキヲ以テ自今營業者ヨリ出願スルニアラサレバ葉煙草ヲ回送
セサルコト、シ第八ニ代金延納請求ノ際ニ提供スル擔保ニハ專賣法施行細
則第十九條ニ定メラレタルモノ、外ニ信用アル會社銀行等ノ株券及證券ヲ
加ヘ又同細則ニ定メタル「政府ノ保護ヲ受クル株式會社ノ株券又
ハ債券」ノ提供ハ必スシモ全額拂込ノモノト限ラス以テ延納擔保ノ範圍ヲ
擴張シ第九ニ現行法ニテハ耕作者ニノミ直接ニ葉煙草ノ輸出ヲ許可セラレ
營業者ハ耕作者ニ附與セラレタル保管證ヲ以テ取引シ得ルノミニテ外國貿
易ノ發達ニ不便ナカラルヲ以テ輸出ノ爲ニ賣下ヲ請求スルトキハ營業
者ニ對シテモ收納價格ヲ以テ賣下ケ且保管證ヲ以テ取引セシメラレタシト
ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト決定致候依テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十四年三月 日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

貴族院議長公爵近衛篤磨

意見書案

區裁判所設置ノ件

福島縣田村郡小野新町士族三輪正治外二名呈出

右ノ請願ハ福島縣田村郡一圓石川石城雙葉三郡ノ一部ハ平、郡山、白河ノ三
區裁判所ノ分管ニ屬スルモ地域曠茫ニシテ管轄裁判所ヲ距ルコト遠キハ二
十里近キハ七八里ヲ下ラス加フルニ峰巒崎嶇道路險惡ニシテ舟車ノ便ナク
往復ニ三日乃至六日間ヲ費シ殊ニ冬時ハ積雪ノ爲行路全ク杜絕シ交通不便
ニシテ權利ヲ伸張シ利益ヲ保持スル能ハサルニ至ル、虞アルヲ以テ白河區
裁判所ノ管轄ニ屬スル石川郡ノ內蓬田村、小平村、郡山區裁判所ニ屬スル田
村郡御館村、都路村、美山村、山根村、片管根村、移村、瀬川村、文珠村、常葉町

平區裁判所ニ屬スル石城郡川前村、三阪村、雙葉郡ノ內川內村、田村郡ノ內
小野新町、管井村、飯豐村、瀧根村、二瀬村、七郷村、大越村、谷田川村ヲ合セ
テ一管轄區域ト爲シ小野新町ニ區裁判所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ
貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト決定致候依テ議院法第六十五條ニ
依リ別冊及送付候也

明治三十四年三月 日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

貴族院議長公爵近衛篤磨

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 其通ニ決シマス、ソレデハ本日ノ議事ハ是ニテ了
リマシタ、先刻來御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

狩獵法改正法律案特別委員

子爵谷 干 城君 子爵長岡 護美君 子爵青山 幸宜君

子爵相良 賴紹君 子爵三島 彌太郎君 子爵丹羽 長保君

男爵渡邊 清君 男爵伊達 宗敦君 飯尾 麒太郎君

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案特別委員

子爵鍋島 直彬君 子爵山本 實庸君 子爵小笠原 壽長君

田中 芳男君 村田 保君 平山 成信君

男爵杉溪 言長君 伊澤 修二君 中西 光三郎君

葉煙草專賣法中改正法律案特別委員

伯爵大原 重朝君 子爵青木 信光君 三 浦 安君

男爵石田 英吉君 中村 元雄君 西村 亮吉君

南 鄉 茂光君 磯邊 包義君 山本 忠秀君

明治三十二年度豫備金支出ノ件外二件承諾ヲ求ムル件特別委員

侯爵細川 護成君 子爵伏原 宣足君 子爵稻垣 太祥君

男爵寺島 秋介君 男爵藤村 紫朗君 男爵小早川 四郎君

中 島 永元君 高橋德右衛門君 日向三右衛門君

○議長(公爵近衛篤磨君) 次會ノ日程ハ追テ御報告致シマス、今日ハ散會
午後二時二十八分散會